

令和5年度 決 算 書

社会福祉法人
津山市社会福祉協議会

法人単位資金収支計算書

（自）令和 5年 4月 1日（至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	会費収入	7,260,000	6,346,800	913,200
		寄附金収入	9,549,000	7,203,248	2,345,752
		経常経費補助金収入	57,940,000	58,179,073	-239,073
		受託金収入	262,280,000	242,442,199	19,837,801
		交付金収入	70,000	81,000	-11,000
		貸付事業収入	1,000,000	53,500	946,500
		事業収入	10,925,000	11,109,539	-184,539
		負担金収入	13,469,000	10,568,250	2,900,750
		法人後見事業収入	6,110,000	6,434,970	-324,970
		介護保険事業収入	106,173,000	106,483,196	-310,196
		障害者総合支援事業収入	1,560,000	1,498,186	61,814
		受取利息配当金収入	3,784,000	3,759,697	24,303
		その他の収入	1,354,000	2,084,332	-730,332
		事業活動収入計(1)	481,474,000	456,243,990	25,230,010
	支出	人件費支出	373,123,000	342,463,091	30,659,909
		事業費支出	125,450,000	107,672,920	17,777,080
		事務費支出	17,240,000	12,844,635	4,395,365
		貸付事業支出	1,000,000	0	1,000,000
助成金支出		14,310,000	13,570,353	739,647	
事業活動支出計(2)		531,123,000	476,550,999	54,572,001	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-49,649,000	-20,307,009	-29,341,991	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,000,000	1,000,000	0
		施設整備等収入計(4)	1,000,000	1,000,000	0
	支出	固定資産取得支出	4,938,000	1,437,250	3,500,750
		施設整備等支出計(5)	4,938,000	1,437,250	3,500,750
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-3,938,000	-437,250	-3,500,750
その他の活動による収支	収入	基金積立資産取崩収入	35,408,000	0	35,408,000
		積立資産取崩収入	18,485,000	17,151,875	1,333,125
		事業区分間繰入金収入	7,122,000	0	7,122,000
		拠点区分間繰入金収入	50,850,000	0	50,850,000
		サービス区分間繰入金収入	12,338,000	0	12,338,000
		その他の活動による収入計(7)	124,203,000	17,151,875	107,051,125
	支出	基金積立資産支出	2,000,000	2,000,000	0
		積立資産支出	5,454,000	4,507,115	946,885
		事業区分間繰入金支出	7,122,000	0	7,122,000
		拠点区分間繰入金支出	50,850,000	0	50,850,000
		サービス区分間繰入金支出	12,338,000	0	12,338,000
		その他の活動支出計(8)	77,764,000	6,507,115	71,256,885
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		46,439,000	10,644,760	35,794,240	
予備費支出(10)		0	—		
		0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-7,148,000	-10,099,499	2,951,499	
前期末支払資金残高(12)		78,527,000	78,538,647	-11,647	
当期末支払資金残高(11)+(12)		71,379,000	68,439,148	2,939,852	

法人単位事業活動計算書

（自）令和 5 年 4 月 1 日（至）令和 6 年 3 月 31 日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収	会費収益	6,346,800	6,530,700	-183,900
		寄附金収益	7,203,248	7,892,593	-689,345
		経常経費補助金収益	58,179,073	57,980,137	198,936
		受託金収益	242,442,199	220,453,977	21,988,222
		交付金収益	81,000	81,000	0
		事業収益	11,109,539	10,135,180	974,359
	益	負担金収益	10,568,250	10,159,480	408,770
		法人後見事業収益	6,434,970	4,929,003	1,505,967
		介護保険事業収益	106,483,196	103,642,915	2,840,281
		障害者総合支援事業収益	1,498,186	1,272,192	225,994
		サービス活動収益計(1)	450,346,461	423,077,177	27,269,284
		費	人件費	352,554,783	330,048,648
	事業費		107,672,920	105,384,973	2,287,947
	事務費		12,844,635	11,158,420	1,686,215
	助成金費用		13,570,353	13,433,233	137,120
	減価償却費		18,188,681	16,704,202	1,484,479
	国庫補助金等特別積立金取崩額		-14,522,957	-13,071,759	-1,451,198
サービス活動費用計(2)	490,308,415		463,657,717	26,650,698	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-39,961,954	-40,580,540	618,586	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	3,220,231	3,151,648	68,583
		その他のサービス活動外収益	2,084,332	1,470,731	613,601
		サービス活動外収益計(4)	5,304,563	4,622,379	682,184
	費				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		5,304,563	4,622,379	682,184	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-34,657,391	-35,958,161	1,300,770	
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	1,000,000	27,640,000	-26,640,000
		特別収益計(8)	1,000,000	27,640,000	-26,640,000
	費	固定資産売却損・処分損	8	113,096	-113,088
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,000,000	27,640,000	-26,640,000
		特別費用計(9)	1,000,008	27,753,096	-26,753,088
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-8	-113,096	113,088	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-34,657,399	-36,071,257	1,413,858	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		157,724,455	137,360,784	20,363,671
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		123,067,056	101,289,527	21,777,529
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		17,151,875	63,808,760	-46,656,885
	その他の積立金積立額(16)		6,453,615	7,373,832	-920,217
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		133,765,316	157,724,455	-23,959,139

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	86,064,973	96,077,809	-10,012,836	流 動 負 債	36,993,348	26,814,993	10,178,355
現 金 預 金	23,747,665	14,583,053	9,164,612	事 業 未 払 金	16,114,499	15,525,228	589,271
中国銀行#1143083	16,705,314	8,614,419	8,090,895	預 り 金	1,019,350	1,014,900	4,450
中国銀行#1020143	0	267,614	-267,614	ボランティア保険料	4,450	0	4,450
中国銀行#1152309	4,220,810	3,671,792	549,018	その他の預り金	1,014,900	1,014,900	0
中国銀行#1157360	1,806,641	1,014,328	792,313	職 員 預 り 金	0	151,114	-151,114
定期預金（中国銀行）	1,014,900	1,014,900	0	社 会 保 険 料	0	151,114	-151,114
事 業 未 収 金	62,317,308	81,491,646	-19,174,338	前 受 金	491,976	547,920	-55,944
立 替 金	0	3,110	-3,110	仮 受 金	0	300,000	-300,000
固 定 資 産	940,063,207	968,052,372	-27,989,165	賞 与 引 当 金	19,367,523	9,275,831	10,091,692
基 本 財 産	234,986,455	250,548,749	-15,562,294	固 定 負 債	42,536,640	39,133,900	3,402,740
土 地	11,272,044	11,272,044	0	退 職 給 付 金	42,536,640	39,133,900	3,402,740
建 物	220,614,411	236,176,705	-15,562,294	負 債 の 部 合 計	79,529,988	65,948,893	13,581,095
建 物	110,230,545	121,368,970	-11,138,425	純 資 産 の 部			
建物付属設備	110,383,866	114,807,735	-4,423,869	基 本 金	4,066,507	4,066,507	0
定 期 預 金	3,100,000	3,100,000	0	基 本 金	4,066,507	4,066,507	0
その他の固定資産	705,076,752	717,503,623	-12,426,871	国庫補助金等特別積立金	176,773,815	190,296,772	-13,522,957
土 地	9,536,271	9,536,271	0	国庫補助金等特別積立金	176,773,815	190,296,772	-13,522,957
建 物	10,573,340	11,475,339	-901,999	その他の積立金	631,992,554	646,093,554	-14,101,000
機 械 及 び 装 置	11	13,770	-13,759	基 金 積 立	557,418,816	555,418,816	2,000,000
車 輛 運 搬 具	1,706,799	2,844,651	-1,137,852	地域福祉活動基金	202,000,519	202,000,519	0
器 具 及 び 備 品	2,715,001	1,850,538	864,465	福 祉 基 金	177,705,376	177,705,376	0
投資有価証券	5,934,136	6,473,602	-539,466	交通遺児激励基金	18,712,921	18,712,921	0
退職給付引当資産	42,536,640	39,133,900	3,402,740	こ ども 基 金	150,000,000	150,000,000	0
職員退職手当積立資産	42,536,640	39,133,900	3,402,740	福祉会館建設基金	9,000,000	7,000,000	2,000,000
基金積立資産	557,418,816	555,418,816	2,000,000	その他の積立金	74,573,738	90,674,738	-16,101,000
地域福祉活動基金	202,000,519	202,000,519	0	運営資金積立金	53,449,100	66,144,100	-12,695,000
福 祉 基 金	177,705,376	177,705,376	0	修繕費積立金	4,000,000	4,000,000	0
交通遺児激励基金	18,712,921	18,712,921	0	備品更新費積立金	13,680,000	17,086,000	-3,406,000
こ ども 基 金	150,000,000	150,000,000	0	福祉会館貸付原資積立	3,444,638	3,444,638	0
福祉会館建設基金積立	9,000,000	7,000,000	2,000,000	次期繰越活動増減差額	133,765,316	157,724,455	-23,959,139
その他の積立資産	73,238,238	89,285,738	-16,047,500	次期繰越活動増減差額（うち当期活動増減差額）	133,765,316	157,724,455	-23,959,139
運営資金積立金	53,449,100	66,144,100	-12,695,000				
修繕費積立金	4,000,000	4,000,000	0				
備品更新費積立金	13,680,000	17,086,000	-3,406,000				
福祉会館貸付原資積立金	2,109,138	2,055,638	53,500				
福祉会館貸付金	1,335,500	1,389,000	-53,500				
その他の固定資産	82,000	82,000	0	純 資 産 の 部 合 計	946,598,192	998,181,288	-51,583,096
資 産 の 部 合 計	1,026,128,180	1,064,130,181	-38,002,001	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,026,128,180	1,064,130,181	-38,002,001

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人
津山市社会福祉協議会

目 次

事業報告	1
第6次地域福祉活動計画による基本目標	1
◎実施計画	
基本目標1 みんなで支え合うまちづくり	2
1 地域で支え合う意識の醸成	2
(1) 住民福祉座談会の開催	2
(2) 地域共生社会の実現に向けた福祉共育（教育）の充実	3
2 津山版地域包括ケアシステムの推進	5
(1) 津山版地域包括ケアシステムの構築	5
(2) 社会福祉法人等の地域における公益的な取組みとの連携	5
3 小地域ケア会議の推進	6
(1) 小地域ケア会議設置推進と運営支援	6
4 地域を基盤とした福祉活動の推進	7
(1) 地域での新たな協働・連携による生活支援サービスの充実・強化	7
(2) 地域福祉関係団体や支部単位の地域福祉活動団体（住民組織）と の連携強化	8
(3) ふれあいサロンの設置推進と支援	9
(4) ご近所福祉ネットワーク活動の推進	10
(5) 生活支援コーディネーター事業の推進	10
5 ボランティア・NPO 活動の促進	13
(1) ボランティア活動センター機能の充実	13
基本目標2 安全・安心なまちづくり	16
6 日常的な緊急時対策の強化	16

(1) 要援護者の把握と情報共有の仕組みづくり	16
7 日常的な防犯・防災対策の強化	16
(1) 防犯・防災の地域組織との連携と啓発活動	17
8 災害時の要援護者対策強化	17
(1) 災害ボランティアセンター設置・運営体制の整備	17
(2) 災害ボランティアセンター設置・運営	17
基本目標3 活力あふれるまちづくり	18
9 こころと体の健康づくり	18
(1) 高齢者の生きがいづくり事業	18
10 地域交流の促進	19
(1) 三世代交流の推進	19
11 地域で福祉活動をする人材の育成	19
(1) 認知症地域支援事業	19
(2) 多様な地域福祉活動の人材育成と活動推進	21
基本目標4 福祉サービスが充実したまちづくり	21
12 相談支援体制の充実	21
(1) 権利擁護センターの運営	21
(2) 法人後見事業の実施	24
(3) 福祉総合相談センター事業	25
13 地域福祉活動への支援	26
(1) 地域子育て支援の充実	26
(2) 地域での自立生活支援の仕組みづくり	31
14 自立を支える体制基盤づくり	33
(1) 障がいのある子どもの学習と体験の充実	33

(2) 認知症の人や家族を支える仕組みづくり	35
(3) 高齢者・障がい者等への支援	35
(4) 高齢者・障がい者の移動支援	38
(5) 地域包括支援センター事業の受託（市受託事業）	39
(6) 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託事業）	44
(7) 赤い羽根共同募金運動の推進	45
(8) 歳末たすけあい事業	46
(9) 介護保険法・障害者総合支援法による指定事業への取り組み	47

基本目標5 津山市社会福祉協議会の組織体制の充実・強化 50

1.5 組織体制の充実・強化	50
(1) 津山市社会福祉協議会の計画的な発展強化への取り組み	51
(2) 発展強化計画の実施	51
(3) 津山市社会福祉協議会会員の加入促進	52
(4) 組織内各種会議の充実	53
(5) 法人の使命と社会的責任の強化	53
(6) 施設の管理経営	53
1.6 広報の充実・強化	59
(1) 広報活動の充実	59
1.7 事業評価の実施	60
(1) 事業評価制度の実施	60

令和5年度 津山市社会福祉協議会事業報告

津山市では、少子高齢化の進行による人口構成や家族形態、また、経済情勢や雇用環境の変化等を背景に、あらゆる世代にわたって、ひきこもりや社会的な孤立の問題、多発する災害への備えや発生時の対応、長期化している新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済的困窮、つながりの希薄化など、新たな福祉・生活課題が生じています。このような状況を受け、生活困窮自立支援や子育て支援をはじめ、地域包括ケアシステムの構築や成年後見制度利用促進の取り組み等が進められています。

こうした現状を踏まえて、津山市社会福祉協議が多くの方々と協働・連携することにより取り組みを進めていくための羅針盤として、津山市の第2次地域福祉計画との一体的な計画である第6次地域福祉活動計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、その3年目として計画に基づき行政とのより強固なパートナーシップのもと、地域住民をはじめ、ボランティア・NPO、関係機関・団体、民間企業、民間事業者等、分野をこえてより一層の協働・連携を図ることで、既存の事業の見直しや拡充を図っていくとともに、住民主体の原則のもと、地域を基盤とした新たなサービスの開発や、支援を必要とする人も一緒に参画できる地域の居場所づくり・出番づくりに向けての取り組みなど様々な取り組みを進めてきました。

そのなかでは、津山市権利擁護センターで、成年後見制度利用促進に向けた中核機関機能の一部を受託し、制度利用が必要な方に対し、本人の意思を尊重した適切な生活支援・法的支援に、より多くの方がつながるように努めることや、生活支援体制整備事業の一部受託をはじめ、様々な事業を展開することで、関わりを活かした福祉ニーズや社会資源の把握や、把握した情報の整理・提供、また協働・連携による新たなサービスによる課題解決に向けて、これまでのネットワークを活かすことに加えて、新たなネットワークづくりにも取り組み、制度等の狭間で困窮する人々を地域で発見し、支え合いの仕組みをつくっていく身近な地域のつながり・支え合い活動のネットワーク活動をシステム化していく津山版地域包括ケアシステムを推進するとともに、こうした活動を広く共有・発信するため様々な形での情報発信などの取り組みを継続的に進めました。

◎ 第6次地域福祉活動計画による基本目標

1 みんなで支え合うまちづくり P, 2

地域住民が、心豊かな生活を送ることができるように、地域みんなで支え合い・助け合いの意識づくりと基盤整備に取り組みました。また、各施策が補完し合い、総合的な医療・保健・福祉サービス等が提供できるように、地域住民・団体、ボランティア・NPO、関係機関・団体、社会福祉法人、民間企業、民間事業所、行政等の密接な連携・協働の体制の構築に取り組みました。

2 安全・安心なまちづくり P, 16

お互いさまの意識による、日常的な地域の見守りや支え合い・助け合い等のつながりを活かした福祉のまちづくりと、地域における防犯・防災のまちづくりとの連携・

協働に取り組みました。

3 活力あふれるまちづくり P, 18

地域住民が、健康で生きがいに満ちた生活を送れるよう、生きがいづくりや居場所づくりを進めるとともに、自分の能力を活かしながら地域で活躍できる人材の育成・支援に取り組みました。

4 福祉サービスが充実したまちづくり P, 20

高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者、ひきこもりの人等が、地域社会の中で安心して暮らしつづけられるよう、必要な情報が効果的に得られる仕組みの整備や地域住民・団体、ボランティア・NPO、関係機関・団体、行政等と連携して自立を支える相談体制の充実に取り組みました。

5 社協の組織体制の充実・強化 P, 47

住民主体を原則とした地域福祉を推進する中核的団体として位置付けられている津山市社協として、地域の期待に応えられるように、組織体制の充実・強化、財源の確保・充実、福祉拠点の管理・運営、広報活動、計画の推進管理等に取り組みました。

※ 上記を基本目標等とし、以下の実施事業に取り組みました。

I 実 施 事 業

◎ 実 施 計 画

■ みんなで支え合うまちづくり （基本目標 1 ）

1 地域で支え合う意識の醸成

地域の状況把握と教育や啓発活動、体験活動などさまざまな機会を通じて、一人ひとりの特性や違いを認め合う相互理解の促進と福祉のこころの醸成を図りました。

（1）住民福祉座談会の開催

①座談会の開催

第6次地域福祉活動計画の3年目として、地域との連携により福祉情報の提供や社協会費、共同募金、事業等の説明を実施し、理解啓発に努めました。

②福祉調査活動の実施

ふれあいサロンや小地域ケア会議、地域住民主体の会議等へ職員が出向き、ヒアリングや意見交換等を実施するなど、地域の状況や動向を調査しました。また、子育て支援等についても円滑な事業実施に向けて、利用者等へのアンケート調査も実施しました。

(2) 地域共生社会の実現に向けた福祉共育（教育）の充実

①福祉テキストの作成とその活用

今後の福祉教育の展開に向けて作成した福祉テキストを基に、学校での福祉教育がより充実・深化するように、調整・検討・実施により福祉共育（教育）の推進を行いました。

②新たな福祉共育（教育）プログラムの開発

高齢や障がいがあっても、同じ地域の仲間として考え、実践していくための新たなプログラムについて検討を行い、高齢者疑似体験プログラムを開発し、福祉教育推進校の連絡会でチラシの配布・周知を行うとともに、5月17日（水）に津山工業高等専門学校生徒へ高齢者疑似体験教室を実施しました。

③福祉機材の活用

・アイマスク、高齢者疑似体験セット福祉機材の整備及び貸出

④福祉図書の貸し出しの実施

地域住民から津山市社協への寄付申し出の機会を活かして、DVD等の充実に努めました。

⑤福祉教育推進校の指定事業（活動助成・連絡会の開催）

市内小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象として、福祉課題とのかかわりと学習を通じ、豊かな人間性と社会福祉に対する理解と関心を深めるとともに、地域社会への啓発を図ることを目的として取り組みました。

《実施状況》

指 定 校	令和5年度	令和4年度	増 減
小学校（校）	21	20	1
中学校（校）	0	0	0
高等学校（校）	1	1	0
合 計（校）	22	21	1

※ 指定校の助成額は年間14,000～50,000円、指定校は公募審査により決定。

⑥福祉教育推進校事業実施連絡会（報告会）の開催

指定校ヒアリング及び事業連絡会

《実施状況》

区 分	開 催 場 所	日 程
ヒアリング	津山市総合福祉会館	5月22日 13:00～17:30
事前連絡会（説明会）	津山市総合福祉会館	6月29日 15:00～16:00
事後連絡会（報告会）	津山市総合福祉会館	2月22日 15:30～16:30

⑦出前福祉体験教室

車椅子・手話・アイマスク・介助等の体験や学習を通じて、福祉課題をより身近なものとして考え、自らも地域社会の一員であるという意識を高めることによって社会福祉に対する理解・関心を深め、豊かな人間性を育むことを目的に実施しました。実施に向けては、各学校で系統立てた福祉教育との連動および、福祉テキストを活用した事前字度学習などにより、より理解や啓発が進む形で調整・実施を行いました。また、様々な視点で物事を見る力を持つことで、相手の立場

に立ち、社会の中で支え合い「共に生きる」意識を育むための取り組みを実施しました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
車椅子体験			
小学校（校）	2 2	2 0	2
参加者（名）	6 3 2	5 9 2	4 0
手 話 体 験			
小学校（校）	1 7	1 6	1
参加者（名）	5 0 5	4 7 5	3 0
視覚障がい者・点字			
小学校（校）	2 0	1 9	1
参加者（名）	6 1 6	6 0 3	1 3
認知症・介護体験			
小学校（校）	5	7	△2
参加者（名）	1 3 2	1 7 8	△46
合 計			
学校・地域（箇所）	6 4	6 2	2
参加者（名）	1, 8 8 5	1, 8 4 8	3 7

その他にも、地域の方向けに車イス体験教室を開催した。

また、県内の社会福祉協議会職員向けに津山市で進める学校教育における福祉教育について実践発表を行いました。

⑧夏のボランティア体験事業

1) 施設・地域でのボランティア体験

中学生3年生・高校生対象

・修了証発行 市内中高生437名

例年、ボランティア体験期間中（7～8月）に施設体験と利用者とのふれあいを通じて福祉への関心と自分の生き方を考える場として、美咲町・鏡野町・久米南町社会福祉協議会と協力して開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染の影響から中学3年生以上の実施となりました。

また、事業終了後には報告書を作成・配布することで、参加した学生、学校、施設、団体の皆さんが活動や事業の振り返りを行い、普段の生活や今後の活動に活かせるような機会の提供を行いました。

2) 夏のお手紙でつながるボランティア

中学生1・2年生対象

・修了証発行 市内中学生42名

夏のボランティア体験として中学1・2年生を対象に、福祉施設の利用者及び従事者へ向けた「お手紙」を書くことを通したふれあい、また、相手を思う気持ちや人の役に立ちたい気持ちを育てることを目的とした「夏のお手紙でつながるボランティア」を実施しました。高齢者施設利用者、保育園児、公民館利用者等へ中学生がお手紙で想いを届けました。

《実施状況》

区分	日時	参加者	場所	備考
事前研修会 (本所)	7月10日(月)午後	高校生	総合福祉会館	受入施設・団体48カ所 参加者：411名
	7月12日(水)午後			
	7月15日(土)午前	中学生		
事前研修会 (加茂)	7月4日(火)	中学生	加茂中学校	受入施設・団体3カ所 参加者：0名
事前研修会 (勝北)	7月5日(水)	中学生	津山市勝北支所	受入施設・団体4カ所 参加者：5名
事前研修会 (久米)	7月5日(水)	中学生	津山市久米支所	受入施設・団体3カ所 参加者：4名

⑨福祉教材の活用

- ・アイマスク、DVD等の整備及び活用
- ・車椅子、高齢者疑似体験セット貸出

2 津山版地域包括ケアシステムの推進

関係機関との連携を強化し、多様な福祉ニーズや地域課題を共有していくことで、支援が必要な方を地域全体で支え合う仕組みづくりを推進しました。

(1) 津山版地域包括ケアシステムの構築

①保健・医療・福祉等の関係機関・団体、行政等との連携

保健・医療・福祉等の関係機関・団体、行政等と協議・連携して、具体的なシステムや体制構築に向けた取り組みを進めました。

②地域包括ケア会議と小地域ケア会議、地域ケア個別会議、協議体との連動

地域包括ケア会議が、小地域ケア会議と地域ケア個別会議から見えてきた地域課題の検討・協議が行える場となるように連携体制を検討しました。

③民間事業者との連携強化

ライフライン事業者や配達事業者、金融機関等の民間事業者と津山市が見守り協定（つやま見守ろうねット）の締結を通して、連携の強化を図りました。

④小地域ケア会議の設置・開催への協力

⑤地域のネットワークづくり

(2) 社会福祉法人等の地域における公益的な取り組みとの連携

①地域における公益的な取り組みとの連携

②地域課題の共有解決に向けた連携協議の場づくり

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとの連携を図るため、市内の社会福祉施設連絡会と課題や実情を情報共有しながら、連携した取り組みを実施しました。

- ・子育て支援に関する取り組みでの連携（地域版親子ひろばすくすく）
- ・生活困窮世帯の支援に関する取り組みでの連携（フードバンク、生活用品バンク）

3 小地域ケア会議の推進

住民の顔が見える、身近な暮らしの圏域において、住民と専門職等が福祉のまちづくりに向けて、話し合い、学び合い、連携し合う場を作り上げることを目指し取り組みました。

(1) 小地域ケア会議設置推進と運営支援

①小地域ケア会議の設置推進・運営支援

1) 小地域ケア会議の開催については、連合町内会長を始め、地域の関係者へ丁寧に説明をし、継続して働きかけを行います。また、開催している支部については、関係機関・団体や行政とともに、運営の支援を行いました。

・小地域ケア会議及び地域福祉活動団体等の取り組みの地域

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
小地域ケア会議(団体)	35	35	0

※ 対象地域は、東部エリア〔大崎(H26)・高野(H29)・広野(H30)・成名(R3)・福南(R4)〕、西部エリア〔城西(H25)・二宮(H27)・院庄(H26)・田邑(H29)〕、南部エリア〔鶴城(H26)・佐良山(H25)・中央(R1)・城南(H30)・福岡(R3)〕、北部エリア〔東苫田(R4)・高倉(H26)〕、中央部エリア〔東津山(H28)・城東(H26)・林田(H28)・城北(R2)〕、加茂・阿波エリア〔新加茂(H25)・西加茂(H26)・上加茂支部(R1)・東加茂(R2)・阿波(H27)〕、勝北エリア〔広戸西(H26)・新野東(H26)・広戸東(H28)・日本原(H28)・勝加茂西(H29)・新野中央山形(H31)〕、久米エリア〔大井東(H25)・倭文東(H26)・久米(H27)・大倭(H27)〕

2) 「笑地域つうしん」の発行

地域や小地域ケア会議で取り組まれている活動の情報交換や交流・住民同士のつながりづくり等を目的に、各地域で開催されている「交流会」などの地域活動を発信しました。

年2回(4月・12月)発行

②小地域ケア会議交流会の開催

小地域ケア会議の活性化を図るため、各地区の委員同士の交流や情報交換・研修等を実施しました。

日 時：令和6年3月23日(土) 10:00～12:30

場 所：津山市総合福祉会館 4階大会議室

参加者：52名

内 容：講演「見守りの必要性和小地域ケア会議の役割」

講師 美作大学 生活科学部社会福祉学科 教授 小坂田 稔 先生

展示・・・見守りに視点を当てた活動紹介

グループワーク

③小地域ケア会議新任職員・担当職員(行政合同)研修会の開催

1) 小地域ケア会議新任担当者研修会の開催

小地域ケア会議を担当する2年未満の行政・社協・包括職員を対象に、小地域ケア会議に関する業務を行う上で、知っておくべき基本に特化した研修会を開催しました。

日時：令和5年6月15日（木） 18：30～20：30

場所：津山市総合福祉会館 3階中会議室

参加者：31名

内容：「小地域ケア会議とは」
「各課の関り方（実践発表）」

地域包括支援センター担当者
市役所高齢介護課担当者
市役所健康増進課担当者
社会福祉協議会担当者
地域包括支援センター担当者

グループワーク

2) 小地域ケア会議職員研修会の開催

津山版地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政・社協・包括が共通理解のもと、取り組みを推進していくため、小地域ケア会議を担当する行政・社協・包括職員等へ研修会を実施しました。

日時：令和5年11月28日（火） 18：30～21：00

場所：津山市総合福祉会館 4階大会議室

参加者：83名

内容：「小地域ケア会議とは」
グループワーク
「各支部の取り組み（実践発表）」

地域包括支援センター担当者
市役所生活福祉課担当者
市役所健康増進課担当者
社会福祉協議会担当者
地域包括支援センター担当者

④小地域ケア会議関係各課連携会議の開催

津山市、社協（包括、地域福祉）が連携して取り組むために、全体研修や会議を開催し、各々の役割について再度確認し検討を行いました。

⑤赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業の活用

4 地域を基盤とした福祉活動の推進

地域福祉活動を担う団体などが相互に連携しながら、地域の福祉課題の解決に向けた取り組みを推進する仕組みの構築を図りました。

(1) 地域での新たな協働・連携による生活支援サービスの充実・強化

①関係機関・団体等の情報交換会の開催

地域住民・団体、生活支援サポーターコーディネーターを置く社会福祉法人等や関係機関・団体、津山市等との協働・連携した地域づくりに向けて、情報共有などネットワークの構築に取り組みました。

②日常生活圏域における生活支援体制整備協議体の設置と開催

高齢者の日常生活の支援や、介護予防に関わる生活支援体制の整備の促進のため、

「第2層生活支援体制整備協議体」の設置に向けた働きかけ等に取り組みました。

③協議体を活かした社会資源の充実と新たな社会資源の創出

地域の状況に併せて、協議体を活かした協働・連携による新たな社会資源づくりなどの検討を進めました。

④社会福祉法人の地域における公益的な取組みとの連携

社会福祉法人が実施する地域における公益的な取組みとの連携により、生活困窮世帯や子育て世帯等の福祉課題・生活課題の共有や解決に向けた取り組みを進めました。

⑤民間企業・団体等の社会貢献活動の促進に向けた連携強化

民間企業等との連携により、企業の社会貢献活動から地域住民の生活課題の解決に向けた取り組みを進めました。

(2) 地域福祉関係団体や支部単位の地域福祉活動団体（住民組織）との連携強化

①支部単位の地域福祉活動団体との連携強化

まちづくり協議会や住民自治協議会、地域づくり応援事業、また、その部会等と連携を図り、会議への参画などにより活動支援を行いました。

②連合町内会支部長・社会福祉協議会福祉推進会議の開催

地域住民への社協会費・共同募金をはじめ、社会福祉協議会の取り組む各種事業の啓発・周知、協力依頼等、連合町内会の理解を求め推進していくことや、福祉情報の提供、推進における課題解決等に向けた協議の場として開催しました。

③地域福祉推進関係団体と情報共有・意見交換会の開催

連合町内会、民生児童委員連合協議会、愛育委員連合会・栄養改善協議会、老人クラブ連合会等が開催している会議等に参加させていただき、顔が見える関係を構築するとともに、取り組み等についての依頼・報告、情報の共有などを行いました。

④社明運動への協力支援

「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動に協力しました。

⑤関係機関・団体との連携した体制づくり

※連合町内会、民生児童委員連合協議会、愛育委員連合会、栄養改善協議会、老人クラブ連合会、福祉施設、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、精神障害者家族の会、ボランティア交流会、福祉団体、医師会、歯科医師会、公民館、職能団体、社会貢献を目指す企業・労働組合・団体、NPO法人、美作大学、弁護士・司法書士、行政機関、その他関係機関、本会構成団体等

⑥福祉団体への運営及び指定事業助成

《実施状況》

団 体 名	令和5年度(円)	令和4年度(円)	増 減(円)
福祉ボランティア久米	157,000	157,000	0
手をつなぐ親の会加茂	102,000	102,000	0
原爆被爆者会	23,000	23,000	0
津山しらうめの会	16,000	16,000	0

阿波ボランティアの会	41,000	41,000	0
阿波ひまわり会	50,000	50,000	0
きずな手話サークル	20,000	20,000	0
津山市身体障害者福祉協会	575,000	575,000	0
津山市手をつなぐ育成会	16,000	16,000	0
合 計	1,000,000	1,000,000	0

⑦赤い羽根まちづくり福祉活動

1) 住民主体の地域福祉活動支援事業

赤い羽根共同募金の特別配分を財源として、連合町内会支部・町内会を単位として、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、住民主体で運営する地域福祉活動団体（住民組織）の地域福祉活動を応援するため、公募・公開審査会により助成を行うと共に、担当職員を配置し、地域と社会福祉協議会との連携強化を図りながら活動支援を実施しました。

また、助成配分地域で取り組まれた活動について公開報告会を行うことにより、地域住民自身が今年度の取り組みにより進められた、地域での支え合い助け合い等や、新たな地域の福祉課題・生活課題の発見等について振り返りを行い、今後の地域福祉活動につながる助成事業として事業実施しました。

加えて、こども審査員として、市内の小中高校生に事業に参画してもらうことで、地域に対して子どもの視点から質問を行うことや、地域で行われている福祉活動を知ることで、共同募金だけでなく福祉活動へも興味・関心をもってもらうなど福祉意識の向上に努めました。また、街頭募金など赤い羽根共同募金運動へも参加してもらいました。

・助成地域数 3 地域 ・助成金総額 500,000円

《実施状況》 (単価：円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成決定額
1	林田さつきヶ丘町内会	ゴミ出しの困難な世帯への支援活動	100,000
2	津山市連合町内会西苔田支部 自主防災・防犯会連絡協議会	昭和池の決壊、宮川の氾濫を想定した 避難訓練	200,000
3	連合町内会広野支部	田熊回り舞台国指定重要有形民俗 文化財 50 周年記念事業	200,000
	合計		500,000

(3) ふれあいサロンの設置推進と支援

①冊子等を活用した、ふれあいサロンの設置推進

ふれあいサロンの活動がより活発になることや、活動の良さの周知・啓発などに向けて、より分かりやすく・伝わりやすいように、啓発冊子を作成しました。

冊子等を活用した周知・啓発により、地域の身近な場所に地域の方々が気軽に集まり、ふれあいや交流を通じて仲間づくりや生きがいくくり、また介護予防に結びつくような育成及び支援を行いました。

また、レクリエーション用具貸出事業により、地域福祉活動に携わるグループや団体（ふれあい交流会やふれあいサロンなど）への支援の一環として、レクリエーショ

ン用具の貸出を行い、地域住民のふれあい・交流を促進する取り組みを行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
サロン数（団体）	138	142	△4
サロン参加者（名）	2,295	2,343	△48

※ 助成金は、1団体一律20,000円助成金を交付しました。

②ふれあいサロンとこけないからだ講座との連携

ふれあいサロン担当者会議の中で協議・検討しました。こけないからだ講座や他の集まり等でもふれあいサロンを周知啓発できるように、チラシを作成しました。

③ふれあいサロンリーダー研修会の開催

テーマ「繋がろう・助け合おう津山のサロン！」

《実施状況》

地 域	日 程	会 場	参加者数(名)	参加サロン(箇所)
全体	2月27日	総合福祉会館	134名	88箇所

＜内容＞

- ・情報交換会「うちのサロン自慢！～サロンでどんなことしてますか」

(4) ご近所福祉ネットワーク活動の推進

ご近所同士のつながりを活かして、住民相互の支え合い・助け合い活動が行っているように、町内会の集まりやふれあいサロン、小地域ケア会議などにおいて、「支え合いマップ」や「台帳」の作成や、緊急連絡カードの設置などを推進しました。

①見守り友愛協助力活動の推進

②緊急連絡カードの設置推進

③地域支え合いマップ普及事業

(5) 生活支援コーディネーター事業の推進

高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし続けることができるように、「日常生活圏域の地域資源及び地域ニーズの把握」「日常生活圏域の資源開発」「生活支援サポーター等の担い手の養成・育成」「関係者間のネットワーク構築」を柱として事業を推進しました。その中で、地域住民や津山市、地域包括支援センター、社会福祉法人、民間企業などと連携し、圏域ごとのニーズや社会資源の把握から、それぞれの地域特性に応じた、様々な取り組みを検討、実施しました。

さらに、高齢者の個別課題から、集いの場と移動販売をコーディネートした買い物支援や、社会福祉法人等との連携・協働により、新たな社会資源の開発・つながを行いました。

①地域ニーズと資源の把握、見える化、問題提起

住民主体の集いの場や会議、企業等へ地域ニーズや資源を把握するために聞き取り調査を行いました。その結果の整理や、集いの場をまとめることで、資源の見える化を行いました。また、把握した情報について、関係機関と共有し、課題解決に向けて検討を行いました。

1) 資源の見える化

・地域カルテ、社会資源リストの更新を行いました。

②多様な主体への協力依頼等の働きかけ

第1層生活支援体制整備協議体を開催するなどして、把握した課題の解決に向けて、地域住民をはじめ、関係機関、社会福祉法人や民間企業等へ協力を依頼するなど働きかけを行いました。

③関係者間のネットワーク構築

生活支援体制整備協議体や地域包括ケア会議（システム部会）、津山市や各圏域での地域包括支援センター主任ケアマネジャーや介護予防プランナーとの情報交換、各支部で開催の小地域ケア会議などを推進し、地域生活課題の検討や生活支援体制の整備に努めました。

また、ふれあいサロンやこけないからだ講座、ふらっとカフェなどの住民主体の集いの場や健康福祉まつりや公民館まつりなど、様々な地域行事に参加し、訪問活動を行う中で生活支援コーディネーターの役割や活動を説明するなど、地域との顔の見える関係づくりに努めました。

④目指す地域の姿・方向の共有、意識統一

津山市と第1層生活支援体制整備協議体を開催し、今後の取り組みに向けて、協議体の参画団体と具体的な検討を行いました。

⑤生活支援等サービス開発

第2層生活支援体制整備協議体の設置に向けて、関係機関と協議を行い、津山市、地域包括支援センター、生活支援サポーター訪問サービス実施団体、生活支援コーディネーターの4者をコアメンバーとして地域住民や企業等も含めながら、立ち上げ地域での継続開催や、地域情報の共有や課題の検討、新たな社会資源づくりについて協議しました。

また、地域ケア個別会議で把握している地域課題として特に、孤立（孤食）、入浴への不安、移動手段の確保への対応として、生活支援コーディネーターが中心となって、昨年度から継続し、津山老人福祉センターや関係機関と協働し、新たな集いの場「3金サロン」の円滑な実施に向けたコーディネートや、勝北圏域でも既存の集いの場への参加が困難な高齢者に対して、地域住民、社会福祉法人等と協働で、新たな集いの場「よんすいサロン」のコーディネートを行いました。さらに、久米圏域において民間企業と連携し、巡回型の移動販売を全支部に拡大し、高齢者の生活支援を行いました。

・集いの場

《実施状況》

名 称	場 所	内 容	開催日
3金サロン	津山老人福祉センター	健康体操・講話、誕生日会、レクリエーション	毎月第3金曜日
よんすいサロン	勝北保健福祉センター	体調確認、講話またはレクリエーション 地域の文化祭に参加するなど 第4水曜日以外にも地域活動に参加	毎月第4水曜日

⑥生活支援等サービス担い手養成・育成支援

1) 生活支援サポーターに関する相談対応と検討会への参画

市高齢介護課、生活支援サポーターコーディネーター訪問型サービス実施団体とサポーター活動について情報交換や、今後のサポーター活動について検討するとともに、個別の状況に合わせて、調整を行いました。

2) フォローアップ研修の開催

市高齢介護課と協働して、生活支援サポーターを対象に、生活支援サポーターのフォローアップ研修を開催し、活動の活性化や生活支援等の担い手の育成を行いました。

・生活支援サポーターフォローアップ研修

《実施状況》

日 時	場 所	内 容	講 師	参加者数(名)
11月20日(月) 14:00～	津山市総合 福祉会館	生活支援サポーターフォローアップ研修・交流会 ～生活支援サポーターの活動への期待～	・市高齢介護課職員 ・第1層生活支援コーディネーター	44

3) ボランティアマッチング会の開催

市地域づくり推進室との共催で、ボランティア活動に関心のある方とNPO法人等でボランティアを募集中の団体とをつなぐマッチング会(講座、出展)を行い、ボランティア等地域の担い手の発掘、活動支援を行いました。

⑦地域のニーズとサービス提供主体とのマッチング活動

民間企業・団体等と、情報交換や働きかけを行う中で、介護予防や生きがい・楽しみづくりを目的とした、地域の集いの場への新たな活動メニューの情報把握や提示につながりました。

また、要支援者等、個別の支援についても支援担当者へ社会資源情報の提供等、ケアマネジメントに関わり、高齢者の自立支援に向けたコーディネートを行いました。

⑧生活支援サービス等の周知・啓発

移動販売業者等の民間企業や社会福祉法人等との協働した活動について、チラシを作成し、地域住民へ周知・啓発を行いました。

また、生活支援コーディネーターの活動について、社協だよりでの広報や、住民主体の通いの場等で周知・啓発を行いました。

⑨生活支援コーディネーター事業研修等への参加

オンライン研修も活用し、国や県が実施する研修等へ積極的に参加することで、他市町村の生活支援コーディネーターの活動情報の把握や情報交換に努め、生活支援コーディネーターとして必要とされる視点等について学び、知識・技術の向上に努めました。

⑩先進地の取り組みの情報収集等

事業研修等に積極的に参加することで、生活支援コーディネーターとしての知識・技術の向上に併せて、津山市での取り組みの充実・強化に向けて、他の先進地の取り組みについても情報収集を行いました。

⑪PDCAサイクルによる重点事業評価の実施

生活支援コーディネーターが日常生活圏域ごとに、地域の特色や状況に併せた事業推進が行えるように、PDCAサイクルを用いた事業推進に取り組みました。

PDCAサイクルの内容については、市高齢介護課と3回の情報共有・意見交換と担当者間での個別相談を通じて、課題の達成状況や計画の進捗確認を行いながら事業の中間評価や最終評価を行いました。

《実施状況》

日 時	場 所	内 容
5月26日(金) 9:00～	市役所東庁舎E301	PDCA重点実施内容確認等
12月14日(木) 14:00～	津山市総合福祉会館 3階 研修室	PDCA中間評価
3月26日(火) 14:00～	津山市総合福祉会館 2階第2小会議室	PDCA最終評価

5 ボランティア・NPO活動の促進

住民が自発的、主体的に行うボランティア活動やNPO法人等の活動が、行政・民間企業等が及ばない分野における迅速、的確、きめ細かなサービスの供給主体や地域福祉活動の担い手として成長し、機能するよう支援体制の強化を図りました。

(1) ボランティア活動センター機能の充実

①関係機関・団体等との連携強化

- ・ボランティア・NPO団体、大学、シルバー人材センター等との連携
- ・ふれあいスポーツ大会、ふれあい村、ふれあい作品展への協力、障がい者の日（12月9日）啓発活動

《実施状況》

区 分	開 催 場 所	日 程
実行委員会・運営委員会への参画	市総合福祉会館	5月11日、5月24日 7月12日、7月26日 10月6日、3月5日
ふれあいスポーツ大会	市総合体育会	6月4日
ふれあい村（イオンでの販売会）	イオンモール内	10月15日
ふれあい作品展への協力	津山市役所 市民ホール	12月4日～12月8日

②共創・協働の意識づくり

津山市ボランティア交流会をはじめ、関係機関・団体と連携し、ボランティア・NPOがお互いの活動を知り、生活課題・福祉課題の共有を行い、意見を出し合い今後の取り組みを検討する、協働の意識づくりを進めるための研修会などを実施しました。

③ ボランティア活動の見える化

1) ボランティア情報の発信等

ボランティア活動が、地域住民にとって身近なものとなることやボランティアへの関心を高めること、またボランティアに関心のある方へ情報がしっかりと届くよ

うに、現在活躍しているボランティアの活動を把握し、社協だより・ホームページ等の媒体を活用して、分かりやすい情報発信を行ないました。

2) ボランティア活動先一覧作成・配布

夏のボランティア体験等から、「夏休み期間以外でもボランティアをしたい」「通年でボランティアに来てくれたら助かる」という声から、主に中・高・大学生を対象に夏休み期間以外でも受入が可能な福祉施設団体をまとめた一覧を作成し、生徒が通年でボランティアをしやすい仕組みをつくりました。

④ ボランティア活動の普及・啓発、協働・連携による担い手の養成

1) ボランティアマッチング会

津山市地域づくりサポートセンターとの連携により、ボランティアを求めるボランティア・NPO 団体等とボランティア活動希望者とをつなぐマッチング会を実施しました。

・開催日：2月18日（日）、出展団体10団体、参加者：約30名

2) ボランティア講座（メンタルサポーター養成講座など）

3) 技能ボランティア（手話・点字・朗読・要約筆記）養成講座（市委託事業）

《実施状況》

区 分	期 間	講 師	実施回数 (回)	受講者数 (名)
手話奉仕員養成講座（基礎課程）	毎週水曜日 (5～10月)	美作ろうあ協会	23	28
点字講座	毎週月曜日 (10～11月)	津山点字ボランティアサークル	8	3
要約筆記奉仕員養成講座	毎週土曜日 (5～11月)	津山要約筆記サークル	18	2
朗読講座	毎週火曜日 (10～11月)	講師 森 くに江 氏	8	15

⑤ ボランティアグループへの援助活動

津山市ボランティア交流会加盟のボランティア団体へ補助金を交付するとともに、市内で活動するボランティア団体の運営や活動に関する相談対応・助言を行いました。

1) 津山市ボランティア交流会の運営支援（加盟団体数 23団体）

コーディネーターが団体の事務局を持ち、活動の支援を行ないました。

・運営委員会：10回／年（毎月第3日曜日）

2) ボランティア活動指定事業補助金の交付

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
補助団体数〈団体〉	20	19	1
(総額)〈円〉	(680,000)	(738,148)	(△58,148)

3) 阿波ボランティアの会（会員9名）

阿波地区の75歳以上の高齢者世帯への手づくり弁当の配食、いきいきサロン活動を実施しました。

4) 阿波ひまわりクラブ（会員10名）の育成援助

阿波地域でふれあいサロン活動、一人暮らし友愛訪問活動、ふれあい弁当、会員研修等に取り組みました。

5) 福祉ボランティア久米の育成援助（会員45名）

久米地区で託児・リハビリ・すくすく久米部門に分かれて活動しました。また、地域版親子ひろばの運営に取り組みました。

6) 手話サークル活動（加茂福祉センター）

加茂地域で手話サークルと協力し、高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」で手話教室等に取り組みました。

開催日：毎週木曜日 参加者：310名 活動回数：48回

7) ボランティア保険の加入助成、行事用保険の普及

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
ボランティア活動保険〈名〉	3,991	3,529	462
ボランティア行事用保険〈件〉	205	176	29
福祉サービス総合補償〈名〉	264	202	62
送迎サービス補償〈件〉	2	2	0

8) ボランティア集会室の運営（津山市総合福祉会館2階）、活動機材の整備・貸出

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
ボランティアグループの利用件数〈件〉	114	104	10
ボランティアグループの利用者数〈名〉	800	627	173

9) 障害者スポーツサークルへの支援 1団体

⑥ボランティアコーディネーター業務

ボランティアならではの活動が発揮できるよう市民と市民、または市民と組織や団体をつなぐ役割に取り組みました。

1) ボランティア活動についての相談・助言・援助について

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
相談者数〈名〉	45	55	△10
内 訳	高齢〈件〉	19	4
	障がい〈件〉	22	△11
	子ども〈件〉	3	△1
	その他〈件〉	11	△2

《登録状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
総登録者数〈名〉	583	582	1
内 訳	個人〈名〉	107	1
	グループ〈団体〉	46	0
	〈名〉	(475)	(0)

⑦書き損じハガキの収集

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
(総 額) (円)	56,692	65,804	△9,112

■ 安全・安心なまちづくり (基本目標 2)

6 日常的な緊急時対策の強化

地域福祉の更なる推進を目的に、福祉の分野・領域を超えて、様々な立場の方々や職種が協働し、地域での支援活動を一体的に進める体制を築くために「コミュニティソーシャルワーク機能」の強化を図りました。

(1) 要援護者の把握と情報共有の仕組みづくり

①地域における要援護者の把握と支援関係者間での情報共有の推進

住民主体による日常的な見守り、緊急時の対応、災害時の支援等の地域活動が円滑に行えるように、世帯台帳や要援護者台帳の整備を行い、関係団体等が活用できるように、地域からの申請に基づいて情報提供を行いました。

②支え合いマップ、世帯台帳・要援護者台帳等の作成

世帯台帳や要援護者台帳の整備を進めるために、支え合いマップの作成推進や他地域での台帳作成事例を用いて普及啓発に努めました。また、支え合いマップを通して、近所力を活かした住民主体による日常的な見守り、緊急時の対応、災害時の支援等の地域活動が円滑に行えるように、作成方法や、作成後の活用方法等について関係者や地域住民の方々に提案しました。

③要援護者の自立に向けてのネットワークづくり

要援護者の自立に向けて、関係機関・団体や地域の協力者を含めたケース会議を行いました。

④保健福祉台帳の整備

民生児童委員連合協議会と連携し、台帳整備を進めています。併せて、登録している見守り友愛協助員の再確認を行い、ご近所での支え合い・助け合いの強化に努めました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
一人暮らし高齢者〈世帯〉	3,135	3,168	△33
高齢者のみの世帯〈世帯〉	1,362	1,405	△43
友愛協助員	2,196	2,345	△149

7 日常的な防犯・防災対策の強化

幅広く情報や課題を共有することで、地域活動を活性化させ、「地域力」の向上に結

び付けることを想定し、事業を推進しました。

(1) 防犯・防災の地域組織との連携と啓発活動

①福祉目線での防犯意識の醸成と啓発

地域における世帯台帳や要援護者台帳、津山市の避難行動要支援者台帳、津山市社協の保健福祉台帳の、各台帳の平常時からの情報共有等のあり方について検討を行い、地域ごとの見守り体制づくりへの支援を行いました。

②福祉目線での防災と災害対応についての意識の醸成と啓発

地域での防災および災害時の取り組みが、高齢者・障がい者等の支援を必要とする方への対応を含めた福祉目線での防災および災害時活動となるように検討を行いました。また、市地域づくり推進室と大規模災害が発生したことを想定した被災地支援を考えるセミナーを開催し、町内会長や自主防災組織の担当者等と災害時の対応について検討しました。

③地域の先進的な防犯・防災活動の情報把握と提供

防災訓練等の事業への参加などを通じて地域における先進的な取り組みについて把握することに努めました。

また、こけないからだ講座やふれあいサロン等で行っている地域での防犯啓発を、各事業とさらに連携を図り、他の場面を活用して啓発活動を行いました。

④安全・安心なまちづくり支援事業の推進（住民組織（自主防犯防災組織等を含む）への支援）

歳末たすけあい募金を活用し、避難訓練や見守り活動等の防犯・防災事業の活性化に向けて助成を行いました。（歳末たすけあい募金事業）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
取組箇所〈個所〉	62	61	1
(総額)〈円〉	(1,796,032)	(1,860,536)	(△64,504)

8 災害時の要援護者対策強化

日頃の見守り活動が災害時における要援護者支援につながるため、日頃より地域活動の中で様々なテーマを持ち、関連性が深い中で、地域の情報交換や課題の共有を図り、防災・福祉・環境等のテーマに応じた活動を充実させる方向で取り組みました。

(1) 災害ボランティアセンター設置・運営体制の整備

①災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施

那岐山断層帯地震発災を想定し、災害ボランティアセンターを設置するまでの流れの確認を含めた机上訓練を行いました。

②災害ボランティアセンターの設置運営等に関するマニュアルの見直し

関係機関・団体やNPO支援センター、行政と情報共有し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの確認、見直しを行いました。

③関係機関・団体との連携強化

協働連携した災害ボランティアセンターの設置・運営に向けて、平時から顔の見える関係づくりを行うとともに、情報交換などを行い連携の強化に努めました。

また、関係機関・団体との連携の中で、町内会長をはじめとする地域住民役140名を対象に、岡山県・岡山NPOセンター主催による「被災地支援に取り組む人と組織の交流セミナー」を開催しました。

■ 活力あふれるまちづくり (基本目標 3)

9 こころと体の健康づくり

豊かな経験・知識・技能をもった高齢者の方が、健康で生きがいを持ち、積極的に社会参加していくことは、介護予防や認知症予防だけでなく、社会全体の活力を維持することにつながることから、高齢者の生きがいと健康づくりの場や社会参画活動の場を提供します。

(1) 高齢者の生きがいづくり事業

① 講座内容の充実

津山老人福祉センター、加茂町福祉センター、勝北福祉センターにて、閉じこもり予防、孤立防止等のための社会参加やつながりづくり、健康維持・増進等を行う場として、各種講座を開催しました。

② 高齢者が生きいきと活躍できる場づくり

高齢者が自分の趣味・特技、これまでの生活の中で培ってきた能力・知識・経験などを活かして社会参加が図られるような活躍の場づくりに努めました。

③ 講座参加者の増加に向けた周知・啓発

講座内容の見える化を図り、生きがいや社会参加につながる講座として、地域住民への周知・啓発を行いました。

④ 介護予防地域サポーター事業の実施

地域で自立した在宅生活をおくることが出来る高齢者の方々（事業対象者・要支援1・2の方）に対して、事前に登録された協力会員により、話し相手や趣味活動を通じた生きがいづくりなどの支援を行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者〈名〉	4	5	△1
サポーター〈名〉	19	19	0
(実 働) 〈名〉	(3)	(3)	0
利用回数〈回〉	55	87	△32

⑤ 生活支援サポーター事業の実施

要支援者及び事業対象者の日常生活支援サービスを行うことにより、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進に資することを目的に取り組みました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者〈名〉	9	11	△2
サポーター〈名〉	33	36	△3
(実 働)〈名〉	(6)	(8)	(△2)
利用回数(回)	148	158	△10

⑥生活支援訪問サービス協力事業所との連携

生活支援サポーター訪問サービスを行う、各圏域の事業所と支援の状況について、市高齢介護課と情報共有を行った。

また、圏域で生活支援サポーターの調整が困難な場合に、中央部圏域に登録されている生活支援サポーターの調整、紹介を行った。

加えて、生活支援サポーターのフォローアップ研修を開催し、現在活動中の生活支援サポーターの育成支援を行いました。

⑦高齢者体力づくり事業

津山老人福祉センター、加茂町福祉センター、勝北福祉センターでの講座にて、健康維持・増進等に向けた講座を開催しました。

10 地域交流の促進

お互いに助け合い、地域で自分らしく安心して、生き生きと暮らしていけるまちを目指して、「地域内での世代間の交流」や「地域間の交流活性化」となるような施策を推進しました。

(1) 三世代交流の推進

①ふれあいサロンにおける三世代交流事業の推進

ふれあいサロン参加者の年齢層を広げ、三世代交流が図られるように働きかけを行いました。

②地域住民や関係機関・団体等との連携強化

愛育委員連合会や地域で子育て支援に取り組まれている関係機関・団体、地域福祉関係者等との連携により、地域での子育て世帯の孤立防止に向けて、情報共有や周知・啓発、連携の強化を図りました。

11 地域で福祉活動をする人材の育成

福祉関係従事者と地域で活動する人材の育成を計画的に推進しました。

(1) 認知症地域支援事業

①認知症サポーター養成講座の開催

認知症を理解し、認知症の人やその家族を見守る認知症サポーターを一人でも増やし、「認知症になっても住み慣れた住まいや地域で心豊かに安心して生活することが

できるまちづくり」を目指して小学校、地域、企業、各種団体等で養成に取り組みました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
受講者〈名〉	841	719	122
(実施回数)〈年・回〉	(43)	(35)	8

②認知症キャラバン・メイトの養成及び活動支援

認知症キャラバン・メイトの活動支援として、定期的に代表者会議と各圏域会議を行い、情報共有や連携強化を図りました。

③認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修の開催

情報交換やスキルアップを目的とした研修・交流会として、グループワークも行いながら、認知症の人の気持ちを理解し深められる内容で行いました。

1) 日 時：令和5年6月17日(土)

内 容：「認知症の人の心を感じて」

NPO 法人アビリティクラブたすけあい SPSP 研究会

代表 香丸 眞理子 氏

④認知症カフェの普及及び活動支援

認知症カフェの普及のために、設置・運営の相談窓口の役割を担うとともに、認知症サポーターや認知症キャラバン・メイトに、カフェの立ち上げや運営スタッフとして協力を得られるよう働きかけを行いました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止のため中止していた「認知症カフェ交流会」を開催しました。

・開催日：令和5年12月18日(月)

津山市内の認知症カフェが繋がりを持ち、意見交換・情報共有・日々の取り組み等を話し合い、今後の活動へ活かせる場となるように、5か所の認知症カフェの取り組み紹介と、先進地の取り組み紹介として講演を行い、その後、情報・意見交換を行いました。

1) 講 師：片上オレンジカフェ(岡山県備前市) 難波 規子 氏

⑤ ふれあいサロン、こけないからだ講座との連携

ふれあいサロンに24回、こけないからだ講座に104回出向き、顔の見える関係づくりや活動支援、連携に努めました。

⑥ 認知症オレンジパートナー養成講座の開催

認知症の知識を深めて本人の思いを尊重する、対応方法を習得し実践していくため、認知症オレンジパートナー養成講座を1講座(全2回)として実施しました。

1) 日 時：令和6年2月28日(水)

内 容：「オレンジパートナーとは」地域包括支援センター

「認知症の症状を理解するための脳機能の基礎知識」

積善病院 近藤啓子 氏

「認知症とともに生きる～本人・家族の声～」目瀬敦子 氏

「介護保険制度について」市役所高齢介護課 小林康平 氏

「成年後見制度について」権利擁護センター

2) 日 時：令和6年3月7日(木)

内 容：「津山市の認知症事業について」地域包括支援センター
「認知症の人への接し方「傾聴」について」

市役所健康増進課 本千尾八州子 氏

「認知症あったか声かけ模擬訓練」地域包括支援センター

(2) 多様な地域福祉活動の人材育成と活動推進

①地域に必要とされる取り組みや仕組みづくりの推進

地域の福祉課題に応じて、地域で必要とされる取り組みや支え合い・助け合いの仕組みを、地域住民が主体となって取り組めるように検討・推進しました。

②人材確保に向けた地域との連携による福祉講演会・研修会等の開催

地域住民とともに講演会・研修会等を企画・開催し、地域の実情に応じた福祉活動を進めるために必要な人材の確保に取り組みました。

③地域と連携した地域での福祉活動の情報発信

津山市社協の広報媒体をはじめ、地域の発信媒体等とも連携した情報発信により、住民に身近な地域の福祉情報を地域住民へ届けられるように取り組みました。

④生活支援活動の情報共有と啓発・取り組みに向けた連携強化

津山市高齢介護課、高齢者の生活支援を行っている民間企業や介護保険事業所等と生活支援活動について、課題や情報の共有など、連携強化を行いました。

■ 福祉サービスが充実したまちづくり (基本目標 4)

1 2 相談支援体制の充実

世帯全体で複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談体制づくりを推進しました。

(1) 権利擁護センターの運営

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図り、支援を必要とする市民の利用に結び付くよう理解の促進に努めるとともに、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等へ、成年後見制度、若しくは日常生活自立支援事業による市民と協働した支援を行いました。

また、市民後見活動が更に広がるよう養成や育成を行うと共に、市民後見人への活動支援を行いました。

①権利擁護センターの機能の充実・運営

1) 運営委員会：2回開催

6月2日、2月2日

2) 支援検討部会：6回開催

5月12日、7月14日、9月8日、11月7日、1月12日、3月1日

検討件数：新規検討1件、継続検討9件、終結検討2件

3) 成年後見支援部会：12回開催

4月6日、5月11日、6月1日、7月6日、8月3日、9月7日、

10月5日、11月2日、12月7日、1月11日、2月1日、3月7日

②権利擁護等に関する相談・訪問・支援

《相談件数》

相談受付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実数 (人)	新規	16	16	14	10	17	23	24	15	10	20	12	17	194
	継続	69	66	71	75	70	76	85	90	83	81	87	82	69
	計	85	82	85	85	87	99	109	105	93	101	99	99	263

《対象者》

高齢者	知的障害	精神障害	身体障害	障害	子ども	その他	不明	計
151	40	52	3	9	0	2	6	263

《相談者》 ※新規受付分のみ

本人	親族	司法	福祉	医療	地域	行政	後見人等	その他	計
20	43	4	72	10	8	10	21	6	194

《相談内容》

福祉	生活	後見	法律	虐待	権利	住まい	その他	計
17	25	195	14	10	17	3	4	285

《対応実績》

対応方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	137	159	174	116	117	134	127	121	92	117	86	171	1,551
窓口・来所	29	33	21	24	27	32	31	16	29	19	26	33	320
訪問・同行	37	30	37	39	35	26	26	50	35	21	30	36	402
個別支援会議	21	17	18	15	13	14	9	9	11	15	16	34	192
関係機関調整	48	55	51	45	36	32	26	32	44	24	19	51	463
資料作成	15	5	16	13	11	11	2	10	17	10	12	21	143
その他	21	28	17	29	14	13	15	29	8	4	17	10	205
計	308	327	334	281	253	262	236	267	236	210	206	356	3,276

③市民後見人推進事業

1) 受任調整会議の開催

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
開催回数〈回〉	12	12	0
検討件数〈件〉	40	27	13
市民後見人受任可 ・新規〈件〉(交代〈件〉)	9(2)	11(0)	△2(2)
社協法人後見受任可〈件〉	12	8	4

2) 市民後見人フォローアップ

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
実施回数〈回〉	12	12	0
参加者数〈延・名〉	217	179	38

3) 市民後見人相談事業（後見人交流会）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
開催回数〈回〉	1 2	1 2	0
参加者数〈延・名〉	3 1	3 2	△ 1

4) 市民後見人への相談支援（職員による相談受付）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
電話〈件〉	1 3 1	4 6	8 5
来所〈件〉	8 7	6 1	2 6
訪問・同行〈件〉	1 0	5	5
個別支援会議〈件〉	1 2	6	6
関係機関調整〈件〉	3 6	—	3 6
資料作成〈件〉	1 1	—	1 1
その他〈件〉	1 5	8	7
合 計〈件〉	3 0 2	1 2 6	1 7 6

5) 市民後見人登録業務

登録者選考会 令和6年1月11日

受験者数 3名 採用数 3名（内1名は未登録）

試験内容 小論文及び面接

④市民後見人養成講座の開催（県受託事業）

日 程：10月14日～12月3日 7日間実施（受講時間1, 770分）

受講者数：19名（津山市6名、鏡野町3名、美咲町1名、真庭市5名、新見市2名、奈義町2名）

修了者：16名（津山市4名、鏡野町2名、美咲町1名、真庭市3名、新見市2名、奈義町2名）

《実施状況》

No.	日 時	内 容	講 師
1	10月14日（土）	市民後見概論	美作大学 教授 堀川涼子 氏
		成年後見制度概論	司法書士 小澤昭文 氏
		成年後見制度と市町村責任	弁護士 竹内俊一 氏
2	10月21日（土）	成年後見制度各論	司法書士 鈴木優介 氏
		関連法律の基礎知識	弁護士 津田真臣 氏
		日常生活自立支援事業	津山市社会福祉協議会 専門員 井伊理恵 氏
3	11月4日（土）	対象者の理解①「認知症高齢者」	積善病院 近藤啓子 氏
		対象者の理解②「知的障害者」	津山社会福祉事業会 三井 友美子 氏
		対象者の理解③「精神障害者」	相談支援事業所えすわーく 秋里勇治 氏
4	11月8日（水）	後見業務の実際①	司法書士 福田啓吾 氏

		「申立てに伴う基本的な手続き」	
		後見業務の実際② 「就任後の財産管理の方法と実務」	弁護士 河路崇宏 氏
		後見業務の実際③ 「家庭裁判所への報告や連携」	岡山家庭裁判所津山支部 裁判所書記官 森藤 真友 氏
5	11月18日(土)	後見業務の実際④ 「身上保護の具体的な役割と業務」	社会福祉士 真木佐江子 氏
		医療保険制度の基礎知識	津山市医療保険課 佐古ゆきな 氏
		津山市の福祉制度	津山市高齢介護課：廣野氏 津山市障害福祉課：高橋氏
		年金制度の基礎知識	津山年金事務所 雪野登志 氏
6	11月25日(土)	消費者被害の実態とその対応	消費者ネットおかやま 岡美穂 氏
		対人援助技術(ロールプレイ)	社会福祉士 武内俊樹 氏
7	12月3日(日)	市民後見人等活動報告	市民後見人 田村洋子 氏 専門職 津山市社会福祉協議会 石原尚己 氏 行政 津山市社会福祉事務所 主幹 佐古晶子 氏
		グループワーク (事例検討・振り返り)	コーディネーター 川崎医療福祉大学 准教授 中尾竜二 氏 アドバイザー 弁護士、司法書士、社会福祉士

⑤権利擁護に関する普及・啓発

1) 権利擁護セミナー

開催日：8月21日 場 所：津山市総合福祉会館 4階大会議室

参 加：会場72名

テーマ：意思決定支援とは？ ～「最後まで自分らしく」を支えていくために～
講 師：美作大学生生活科学部社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏

2) 地域における普及啓発活動の実施

権利擁護に関する講話 8回

(2) 法人後見事業の実施

本会が法人として成年後見人等を受任し、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が不十分な方の財産管理、身上保護支援を行いました。

①成年後見事業の実施

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
-----	-------	-------	-----

後 見〈件〉	2 8	2 3	5
(新規受任)〈件〉	(5)	(5)	(0)
(終了)〈件〉	(0)	(1)	(△1)
保 佐〈件〉	1 2	1 0	2
(新規受任)〈件〉	(2)	(2)	(0)
(終了)〈件〉	(1)	(0)	(1)
補 助〈名〉	7	5	2
(新規受任)〈件〉	(2)	(2)	(0)
(終了)〈件〉	(1)	(0)	(1)
合 計〈名〉〈件〉	4 7	3 8	9
(新規受任)〈件〉	(9)	(9)	(0)
(終了)〈件〉	(2)	(1)	(1)

※実受任件数：36件（認知症高齢者20件、知的障がい者7件、精神障がい者9件）

活 動 回 数：524件

②法人後見運営委員会の開催

本会の後見業務の実施あたり、受任の適否の判断や後見業務の指導により適正な後見業務を担保するための機関として法人後見運営委員会を設置し、開催しました。

・開催回数 年12回（成年後見部会と兼ねて開催）

（3）福祉総合相談センター事業

①福祉総合相談、心配ごと相談（4か所、毎月1回開催）

住民の生活課題解決や地域の福祉力を向上することを目指し取り組みました。

1）福祉総合相談・心配ごと相談

民生委員児童委員活動と連携し、住民の暮らしに関する様々な相談窓口・橋渡しの相談所を中心部に1カ所、また旧町村に相談所を開設しました。

・総合相談事業全体

《実施状況》

区 分	開 催 日	令和5年度 日数（件数）	令和4年度 日数（件数）	増 減
福祉総合相談（本所）	毎月第2水曜日	12（3）	10（1）	2（2）
心配ごと相談（加茂・阿波）	毎月第2水曜日	12（2）	9（1）	3（1）
心配ごと相談（勝北）	毎月第3木曜日	12（3）	10（2）	2（1）
心配ごと相談（久米）	毎月20日	12（10）	12（4）	0（6）
合 計		48（18）	41（8）	7（10）

・相談利用者数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
来所〈名〉	17	5	12
電話〈名〉	1	2	△1
再来〈名〉	0	3	△3
合 計〈名〉	17	10	7

・福祉総合相談の状況（全体集計）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
生 計〈件〉	2	0	2
年 金〈件〉	1	0	1
就 業・生 業〈件〉	0	0	0
住 宅〈件〉	2	1	1
家 族〈件〉	0	0	0
結 婚〈件〉	0	1	△1
離 婚〈件〉	0	0	0
健康・衛生〈件〉	0	0	0
医 療〈件〉	0	0	0
精 神 衛 生〈件〉	0	0	0
人権・法律〈件〉	1	1	0
財 産〈件〉	3	3	0
事 故〈件〉	0	0	0
児童福祉・母子保健〈件〉	0	0	0
教育・青少年〈件〉	0	0	0
心身障害児・者福祉〈件〉	0	1	△1
母子・父子福祉〈件〉	0	0	0
老 人 福 祉〈件〉	0	0	0
苦 情〈件〉	0	0	0
介 護〈件〉	1	0	1
そ の 他〈件〉	7	3	4
合 計〈件〉	17	10	7

②津山市介護者の会愛の電話相談（相談員：介護者の会相談員）

・開催日時：毎月第3月曜 13:00～15:00 、開催日数：12日間、 件数：70件

③認知症介護家庭じっくり電話相談（認知症の人と家族の会相談員）

・開催日時：毎週2・4火曜日 10:00～11:30、開催日数：23日間、件数：80件

1.3 地域福祉活動への支援

核家族化の進行や働き方の変化により、孤立や不安・悩み解消に向けた支援が求められています。また、生活上の困難に直面している方に対し、地域において自立した生活が行えるよう、一人ひとりの状況に応じた自立相談支援の仕組みづくりに取り組みました。

（1）地域子育て支援の充実

①親子ひろば「すくすく」事業（市受託事業）の取り組みと充実

子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤独感、負担感の解消

を図り、市内の地域子育て支援センターとの連携による子育て支援の充実に努めました。

1) 親子ひろば「すくすく」 ※令和5年度から、一般型から連携型に変更

0～3歳（年度末の3月31日）未満のお子さんと保護者の方が気軽に集う場として、親子ひろばを開設し運営しています。

・お休み：月曜日（第3日曜日の翌日除く）金曜日・第3日曜日・祝日の翌日

年未年始（12月29日～1月4日）

・場 所：中央児童館 集会室

・時 間：10：00～13：00

*警報発表時、児童館休館のため すくすくお休み

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者〈名〉	4,495	9,388	△4,893
(利用組)〈組〉	(1,955)	(4,218)	(△2,263)

2) おはなしタイム

毎月第4日曜日 10：30～30分程度

・スタッフとあそぼう

絵本の読み聞かせ・手遊び・ふれあい遊び・パネルシアター・エプロンシアター
ペープサート・ふれあいトーク・製作などしました。

3) Photo アートデイ

毎月第2土曜日

毎月その季節に合ったアートをスタッフが準備して、子どもさんの可愛い寝顔アートを撮影しました。

②地域版親子ひろば「すくすく」の充実

※市内3か所（勝北・久米・佐良山〈さら楽〉）

子育て家庭の親子の交流促進や地域とのつながりを促進する取り組みに向けて、協働しているボランティア・民生児童委員・愛育委員との課題共有や協議を行いました。

また、子育て支援センターや社会福祉法人の公益的な取り組み、さらには子育て支援に関する関係機関・団体等との連携により、多くの人が気軽に利用・相談できるように内容の充実を図り、利用者の増加を目指し取り組みました。

1) 地域版親子ひろば「すくすく久米」

地域版の親子ひろばとして、地域のボランティア等の方々の力をお借りして取り組んでいます。第1火曜日は、子育てほっとサロン、第3火曜日は出前保育（久米こども園）と合同で実施しています。

・開催日：毎月第1・3火曜日、場所：久米保健センター

・イベント：「うた♪うたう会」季節の歌を歌う 12月19日

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者〈名〉	217	247	△30
(利用組)〈組〉	(97)	(112)	(△15)

2) 地域版親子ひろば「すくすく勝北」

地域版の親子ひろばとして、地域のボランティア等の方々の力をお借りして取り組んでいます。

- ・開催日：毎月第2・4火曜日、場所：勝北保健福祉センター
- ・出前保育：「勝北風の子こども園」8月8日、9月12日、10月10日、11月14日、12月12日、3月12日
- ・「わいわいひろば」と同時開催 4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、8月22日、9月26日、10月24日、11月28日、12月19日、1月23日、2月6日、3月26日
- ・イベント：3B体操 7月4日、1月9日

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者〈名〉	255	86	169
(利用組)〈組〉	(112)	(39)	(73)

3) 地域版親子ひろば「すくすく佐良山」

地域版の親子ひろばとして、地域のボランティア等の方々の力をお借りして取り組んでいます。

- ・開催日：毎月第4火曜日、場所：津山老人福祉センター「さら楽」
- ・出前保育：「院庄さくらこども園」4月25日
「久米こども園」5月23日、1月23日
「勝北風の子こども園」6月27日
「みどりの丘保育所」9月26日
「高倉ひかり保育園」10月24日
「津山社会福祉事業会」11月28日
「やよい子育て支援センター」12月19日
「東津山保育園」2月27日
「二宮保育園」3月26日
- ・イベント：出前保育・プール遊び・大浴場
「すくすくスタッフ」7月18日、7月25日、8月8日、8月22日

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者〈名〉	81	156	△75
(利用組)〈組〉	(36)	(66)	(△30)

③おめでとう訪問事業の実施

愛育委員・栄養委員によるおめでとう訪問を通して、保護者に子育てに関する情報を提供するとともに、身近な相談・ニーズキャッチ機能として、地域とのつながりづくりを進めました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
訪問件数〈名〉	348	358	△10

④子育て支援関係者会議の開催

相談者の課題や相談内容を的確に把握し、関係機関・団体、行政等と連携を図りながら支援します。また、子育て家庭や子どもが抱えている福祉課題・生活課題を解決するため、関係機関・団体、行政等との必要な事業を検討しました。

⑤子育てに関する講習やイベントの実施

子育て家庭が不安や悩みを解消できるよう、親同士・子ども同士の交流の場づくりや親子で参加できる講習・イベントを開催しました。

⑥「ミニまぐ」による地域の子育て関連情報の配信（随時更新）

現在活用している「ミニまぐ」をPRし、ボランティア・NPO、関係機関・団体、行政等から子育てに関係する様々な情報を収集し、定期的に配信します。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
登録者数〈名〉	435	470	△35

⑦親子講座の開催 毎月1回開催

1) 親子講座

《実施状況》

No.	実施場所	日 時		参加内容	組人数	
		日 付	時 間			
1	中央消防署	4月20日	10:30～ 11:30	第1回消防署見学	15組	32人
2	中央児童館 遊戯室	5月16日	10:30～ 11:30	スタッフと遊ぼう♪	11組	23人
3	美作大学 体育館	6月 3日	10:30～ 11:30	第1回ふれあいパーク みまさか	23組	59人
4	美作大学 体育館	7月 1日	10:30～ 11:30	第2回ふれあいパーク みまさか	30組	78人
5	すくすく	8月24日	10:30～ 11:30	第1回ベビーマッサージ	10組	23人
6	中央児童館 遊戯室	9月12日	10:30～ 11:30	おかやま COOP	14組	29人
7	すくすく	10月 3日	10:30～ 11:30	ファイナンシャル・プランナーさん とお喋り	5組	11人
8	中央消防署	11月15日	10:30～ 11:30	第2回消防署見学	15組	39人
9	すくすく	12月18日	10:30～ 11:30	第1回作って遊ぼう ～ポットン落とし～	8組	16人
10	すくすく	1月27日	10:30～ 11:30	第2回ベビーマッサージ	8組	19人
11	すくすく	2月19日	10:30～ 11:30	第2回作って遊ぼう ～ミルク缶チェン～	10組	21人

12	中央児童館 遊戯室	3月 7日	10:30～ 11:30	親子deリトミック♪	15組	32人
----	--------------	-------	-----------------	------------	-----	-----

⑧すくすく支援ボランティアの育成

⑨子育て便利情報の提供（PC活用して情報発信サービス実施）

⑩おかやま県北ちゃいるどネットワークへの参加

⑪親子クラブへの支援

地域の子育て機能の充実を図ることを目的に、乳児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流を図ることや、ボランティアを活用して育児相談等を行う場所提供等地域主体で取組む親子クラブに対して助成を行いました。（1クラブ2万円/年）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用者（クラブ）	9	8	1
（利用組）（円）	（180,000）	（160,000）	（20,000）

《実施状況》

No.	団 体 名	主開催場所	参加 (名)	主 な 活 動
1	東津山チューリップ クラブ	東公民館他	142	出張保育、いちご狩り、親子体操、人形 劇、水遊び、施設見学等
2	一宮ラッコクラブ	一宮公民館他	236	出張保育、施設見学、季節行事、親子体 操、プラバン制作
3	高野元気組	高野公民館他	351	出張保育、親子体操、施設見学、リトミ ック、いちご狩り、季節行事等
4	田邑ちびっこ学級	田邑公民館他	556	水遊び、芋ほり、イチゴ狩り、運動あそ び、季節行事、読み聞かせ等
5	大崎ゆりかご会	大崎公民館他	521	出張保育、芋ほり、施設見学、クッキン グ、親子体操、制作等
6	広野ひまわり市民学 級	広野公民館他	204	季節行事、製作、いちご狩り、食育教室、 施設見学等
7	西 苫 田 アクティブ kids	市内公園他	167	水遊び、施設見学、いちご狩り、外遊び 等
8	佐良山つくしクラブ	佐良山公民館	102	出張保育、読み聞かせ、いちご狩り、水 遊び、ヨガストレッチ、親子体操、季節行事等
9	院庄にこにこクラブ	院庄公民館	126	出張保育、いちご狩り、親子体操、工作 教室、季節行事等

⑫子育て器具貸出事業

出産間もない家庭の一時的な経済的負担の軽減と、子どもの成長に伴って不用となる器具のリサイクルを図ることを目的に、子育て器具貸出し事業を行いました。

・子育て器具貸出件数

《実施状況》

区 分	令和5年度貸出件数	令和4年度貸出件数	増 減
ベビーベッド	73	79	△6

ベビーバス	19	28	△9
ベビーカー	41	44	△3
チャイルドシート	201	188	13
ジュニアシート	50	52	△2
その他	163	161	2
合 計	542	552	△10

※その他の子育て器具は、スケール、クーハン、ベビーゲート、ハイローチェア、歩行器、バウンサー等

⑬母子寡婦福祉会への援助

時代変遷に合わせて、会の様相も変わってきているため、現状に合った活動内容に合わせた支援に向けて、代表者との調整・検討を継続的に行っており、今後の支援につなげていくこととしました。

⑭交通遺児への激励金の支給

交通事故により保護者を失った児童生徒に対して、児童の健全な育成と福祉の増進を目指し、激励金を支給しました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
激励金〈円〉	40,000	60,000	△20,000
中学生〈名〉	2	2	0
小学生〈名〉	0	1	△1

⑮プレイルールの貸出

福祉会館プレイルームをおもちゃ図書館として活用しました。

⑯児童遊園地等補修費補助事業

地域社会での高齢者・こども・子育て世帯等への支援として、町内会と本会が設置した「赤い羽根・こどもの遊び場」や町内会が任意で設置した遊び場やグランドゴルフ場等に設置された遊具の塗装・修理、また整地のための土砂の補充を行い安全・安心な居場所づくりや生きがいつくりの場の確保を行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
補修箇所（箇所）	6	5	1

⑰津山市妊産婦訪問員派遣事業（市受託事業）

妊娠中及び出産後、心身の不調等によって子育てに支障がある、または多胎児を出産後、家事や子育ての負担の軽減を図る必要がある養育者に対して、訪問ヘルパーを派遣し家事に関する支援、育児に関する支援を行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
対象者〈名〉	3	3	0
（訪問回数）〈回〉	（36）	（42）	（△6）

（2）地域での自立生活支援の仕組みづくり

①フードバンクの充実

人も食べ物も救うことが出来るという、新しい「食のリサイクル」事業として、また生活困窮者への食糧支援として、フードバンク事業に取り組みました。

・フードバンク食品取扱量

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
相談件数〈件〉	170	149	21
(利用者数)〈名〉	(88)	(86)	(2)

・関係機関・団体等との連携

食品確保については、フードバンク岡山・津山を拠点として活動するNPO法人や、市内の社会福祉法人の地域における公益的な取り組みと連携を図り、食のリサイクルとして生活困窮者・世帯への支援へつながるように努めました。

支援については、生活困窮者・世帯の状況を把握しながら、自立へ向けた支援を行うため、DV被害者支援団体、被虐待児童支援団体、障がい者支援団体、相談窓口設置団体、児童施設、児童授産施設、学童保育施設、行政などの関係機関等と連携・協働することで、生活困窮者・世帯が自立した生活がおくれるように支援を行いました。

※フードバンクの取り扱い種類は、野菜・かんきつ類、穀類・穀物加工食品、レトルト食品、パン類、菓子類、めん類、調味料、清涼飲、その他の食料品です。

②生活用品バンクの充実

地域住民の自宅に不用となっている衣類、紙おむつ、タオル等の生活用品の寄付を受け、必要としている人に提供できる体制の検討と試行的な実施を行いました。

また、社会福祉法人の公益的な取り組みとも連携し、保管場所の確保に努めました。

・生活用品バンク品物取扱量

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
相談件数〈件〉	15	17	△2
(利用者数)〈件〉	(13)	(8)	(5)

・関係機関・団体等との連携

生活困窮者・世帯の状況を把握しながら、自立へ向けた支援を行うため、DV被害者支援団体、被虐待児童支援団体、障がい者支援団体、相談窓口設置団体、児童施設、児童授産施設、学童保育施設、行政などの関係機関等と連携・協働することで、生活困窮者・世帯が自立した生活がおくれるように支援を行いました。

※生活用品バンクの取り扱い種類は、衣類、紙おむつ、タオル、洗濯機、電子レンジ、炊飯器等です。

③自立相談支援センターとの連絡会の開催

自立相談支援センターとの連携を図り、利用者に関する情報共有を行い、さらに情報交換、意見交換が行えるように会議を開催しました。また、生活困窮者の個の課題や現状から見えてくる地域の課題を踏まえて、既存組織等を活用し必要な事業が提供できるよう必要に応じて調整しました。

・行政及び関係機関・団体等の全体連絡会 5月26日(金)

④生活福祉資金の貸付及び償還指導

低所得者や高齢者、障がい者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談援助を行うこ

とにより、課題の解決と世帯の自立を支援する活動を行いました。

事業の実施主体である岡山県社会福祉協議会との密接な連携のもと、貸付金を必要とする市民の相談対応および支援や償還に関する指導等を行いました。また、貸付世帯に対し訪問や面接を行い、世帯の自立を支援しました。

《実施状況》

資金の名称		相談等対応件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額 (千円)
総合支援資金		51	1	240
教育支援資金		14	0	0
福祉資金	福祉費	43	1	204
	緊急小口資金	36	1	100
不動産担保型生活資金		0	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0
臨時特別つなぎ資金		0	0	0
福祉金庫		38	0	0
その他		44	0	0
合 計		226	3	544

⑤市町村社協相談支援体制強化推進事業

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金に困られている方へ、生活再建に向けての情報提供や相談対応などの支援を行いました。

- 1) 状況把握調査 1, 517件（郵送によるアンケート調査）
- 2) スクリーニング 527件
- 3) 支援調整 55件

等、生活再建に向けた継続支援を実施

⑥福祉金庫の貸付及び償還指導（実施状況は上記へ含む）

⑦他の支援機関と連携した多様な生活課題への対応

- 1) 自立相談支援センター、ハローワーク、就労支援センター等との連携
- 2) 各支援機関主催の支援会議、連絡会議等への参画

1.4 自立を支える体制基盤づくり

日常生活を送る身近な地域で生活する上でさまざまな不自由を感じている高齢者や障がい者などが、地域において安心して暮らし続けられるよう、生活支援にかかるサービスの充実を図るとともに、誰もが生活しやすい環境を整えました。

(1) 障がいのある子どもの体験と学習の充実

①県北親の会ネット等関係機関との連携強化

県北親の会ネットの活動充実のため、市内や近隣市町村で活動している当事者・家族の団体への呼びかけとボランティア・NPO、関係機関・団体、行政等と連携を強化する方法について協議しました。

・定例会：毎月第2木曜日19：00～21：00（12回開催）

団体会員：9団体、個人会員4名

②当事者・家族・支援者等に向けた勉強会の開催

・研修会

開催日：令和6年2月4日（日）

テーマ：「権利擁護センターについて学ぼう 意思決定支援のための制度とは」

講師：津山市社会福祉協議会 権利擁護センター 主査 大釜 満穂 氏

③障がいのある子どもと家族のわくわく・サマー体験教室

夏休み期間中に、障がいのある子ども達へ家族とともに様々な社会参加や体験の場を提供していくことを目的に開催しました。アフターコロナでイベント等の再開が進まない中ではありましたが、親子で安心して楽しめる時間を提供するため、県北親の会ネットの会員とともに企画、実施しました。

《実施状況》

開催日	体験内容	参加者（名）	スタッフ（名）
7月 22日	防災体験	18	10
7月 29日	木工教室	31	16
8月 5日	運動教室	10	13
8月 19日	キャンドル作り	29	11
合 計		88	50

参加者：12名減（令和4年度と比較）

④理解啓発や障がいのある子どもと家族の将来のための研修会等の開催

県北親の会ネット等の支援者の団体からの声を聞き、障がいのある子どもの親や支援者が必要な情報を得るための研修会を企画、実施しました。

また、津山手をつなぐ親の会と津山地域知的障害者相談員協議会合同開催の研修会を企画し、に関わるとともに、防災体験（簡易トイレ、ダンボールベッド等）を通じて親や支援者を対象に情報提供などを行いました。

⑤ボランティア活動や仕事体験の実施

⑥おもちゃ図書館の設置・運営支援

おもちゃ図書館を運営するボランティア団体への支援により、おもちゃ図書館を活用した障がいのある子どもの学習と体験の充実を行いました。

（2）認知症の人や家族を支える仕組みづくり

①認知症ケアパスの周知

認知症の人とその家族が、地域のなかで本来の生活を営むために、認知症の人と家族及び地域・医療・福祉・介護等の人々が目標を共有し、それを達成するための連携の仕組みとして、認知症ケアパスの普及啓発に努めました。

②当事者団体との連携

日頃の相談活動の中で関わった人等に、当事者団体についての広報・周知を積極的に行い、当事者団体への参加を呼びかけました。併せて、認知症キャラバン・メイトの参加等により、担い手の確保に努めました。

1）津山市認知症の人と家族の会「おあしすの会」への援助（会員 49名）

- ・会報誌「おあしす」の発行 年4回 リフレッシュのつどい 年3回
- ・地区の談笑会 11月21日〔加茂支所〕
- ・相談員活動の推進援助 会員宅への「認知症介護家庭じっくり電話相談」
- ・紙おむつ寄付分の配付

地域住民や関係機関等からいただいた紙おむつを、会員に配付しました。

- ・相談員研修会の実施

開催日：令和6年2月15日（木）

テーマ：「ラクな身体の動かし方～目指すは脳の活性化！～」

講師：津山市健康増進課 安本 勝博 氏

- ・美作大学と共催で実施している認知症カフェ「おあしすカフェ」の運営・協力
- ・世界アルツハイマーデー啓発行事への協力

③介護保険事業所研修会の開催

認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインについて学び理解を深めることを目的に、介護保険事業者を対象に研修会を開催しました。

日時：令和6年2月15日（木）

講演：「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」

講師：岡山パブリック法律事務所津山支所 高木成和 氏

④チームオレンジの整備

チームオレンジの一員となる認知症オレンジパートナーを養成する講座1講座（全2回）を開催し、チームオレンジの活動や流れについて学び、チームオレンジ立ち上げの準備を進めました。

（3）高齢者・障がい者等への支援

①福祉用具の貸出（在宅）

在宅で介護を必要とする高齢者並びに障がいを抱える家族のいる世帯に、福祉用具の貸出しを行いました。

- ・在宅介護用具・用品の数量及び貸出

《実施状況》

No.	区 分	令和5年度 貸出件数（保有数）	令和4年度 貸出件数（保有数）	増減額
1	ポータブルトイレ	55件（54個）	70件（54個）	△15件（0個）
2	自操式車椅子	272件（269個）	257件（243個）	15件（26個）
3	介助用車椅子	7件（44個）	17件（42個）	△10件（2個）
4	リクライニング車椅子	0件（1個）	0件（1個）	0件（0個）
5	歩行器	37件（48個）	33件（41個）	4件（7個）
6	シルバーカー	16個（43個）	21個（43個）	△5件（0個）
7	介助固定バー	0件（11個）	0件（11個）	0件（0個）
8	シャワーチェアー	20件（39個）	24件（37個）	△4件（2個）
9	シャワートイレキャリー	0件（4個）	1件（3個）	△1件（1個）
10	バスアーム	7件（5個）	3件（5個）	4件（0個）
11	スロープ	2件（2個）	4件（2個）	△2件（0個）

12	バスボード	3件（13個）	3件（14個）	0件（△1個）
13	介護ベッド	51件（57個）	51件（53個）	0件（4個）
14	ナーセントパット	1件（25個）	3件（16個）	△2件（9個）
15	浴槽台	8件（31個）	11件（32個）	△3件（△1個）
16	スイングアーム介助バー	0件（11個）	0件（11個）	0件（0個）
17	4点支持杖	14件（32個）	12件（31個）	2件（1個）
18	松葉杖	10件（21個）	8件（17個）	2件（4個）
19	杖	9件（12個）	6件（10個）	3件（2個）
20	オーバートーブル	1件（9個）	3件（9個）	△2件（0個）
21	タッチアップ	0件（2個）	5件（2個）	△5件（0個）
合 計		513件（733個）	532件（677個）	△19件（56個）

②お元気ですか！さわやかテレホンサービス

一人暮らし高齢者への電話訪問を通じて安否確認と孤独感の解消を図りました。また、心身状態の異変については、関係機関と連携を取り対応しました。

・活動状況

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
協力ボランティア〈名〉	13	12	1
（利用者）〈名〉	（26）	（19）	7

※ 開催日内容は、総合福祉会館から毎週月・火曜日に、ボランティアの自宅からは随時、利用者の自宅へ随時電話を実施しました。

・報告研修会 年3回

・ボランティア研修

開催日：3月1日 参加者15名

場 所：津山市総合福祉会館3階 中会議室

内 容：「相手の気持ちに寄り添うためにできること」

講 師：美作大学 生活科学部 社会福祉学科 社会福祉士 堀川 涼子 氏

・さわやかテレホンサービス親睦交流会

開催日：11月8日 参加者16名

場 所：老人福祉センター さら楽

・さわやか通信の発行 年6回

③在宅介護者交流事業、リフレッシュ事業（当事者の会との連携事業）

1）津山市介護者の会への援助（会員 49名）

・総 会 5月16日（火）

・会報誌「絆」の発行 年2回

・介護者リフレッシュのつどい 年3回

・地区での談笑会

町内会長、民生児童委員をはじめ地域内の施設等、関係機関・団体とも連携しながら、地域の介護者の孤立を防ぐための繋がりづくりや情報共有等を行うため、談笑会を開催しました。

7月 7日（金）高野地区〔高野公民館〕

10月 3日（火）城東地区〔城東屋敷〕

3月25日（月）福岡地区〔中央公民館〕

・相談員活動の推進援助 会員宅への「愛の電話相談」

・研修会 2月14日（水）

テーマ「訪問看護について」

津山一般市民に向けて介護の知識を得るため研修を企画した。

④介護者教室事業（市受託事業）

⑤障がい者の災害時緊急支援体制整備事業

情報提供、自主防災マニュアルの作成、地域での避難訓練

⑥自立支援協議会、部会への参加と協働事業の実施

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減（回）
こども部会出席	4	2	2
地域生活支援部会	0	1	△1
合 計	4	3	1

その他、自立支援協議会総会へ出席しました。

⑦おもちゃ図書館の運営

市内の就学前の心身に障がいのある子どもを対象におもちゃの貸出・遊び場の提供
津山市総合福祉会館3階「プレイルーム」で取り組みました。様々なおもちゃに接し、
発達段階に応じたおもちゃを貸し出すことにより楽しく遊びながら知能の発達や運動
機能回復訓練に役立てるとともに、親同士の交流の場とすることを目的に運営を行っ
ています。本年度もボランティアグループの協力を得て取り組みました。

1) おもちゃ図書館

・おもちゃの貸出：93件

愛育委員、親子クラブ、病院、ボランティア、ふれあいサロンなどの団体や個人へ
の貸し出しを行いました。

2) 移動おもちゃ図書館協力

・日時： 7月9日、場所：津山市総合福祉会館

・日時： 3月3日、場所：津山市総合福祉会館

3) おもちゃ図書館クリスマス会

日 時：令和5年12月23日（土）

場 所：津山市総合福祉会館

参加者：28名

4) おもちゃ図書館ボランティア養成講座

講 師：認定NPO法人おもちゃの図書館全国連絡会

理事長 鈴木 訪子 氏

日 時：令和5年9月30日（土）

場 所：津山市総合福祉会館

参加者：23名

⑧障がい者とボランティア社会参加促進事業

⑨介護用品支給事業

在宅で介護されている介護者の方の負担軽減のために、要介護３～５で住民税非課税世帯に対し紙おむつの支給を行いました。

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	増 減
介護用品支給対象者（名）	１４８	１４８	０

⑩勝北ひとり暮らし高齢者の会「すみれ会」への援助（会員１３名）

・会員のつどい 年１２回

⑪男のエプロン教室への支援

津山市内の５５歳以上男性を対象とした料理教室及び交流事業

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	増 減
参加者〈名〉（実施回数）〈回〉	２０（５）	１５（２）	５（３）

⑫高齢者木工教室への支援

（４）高齢者・障がい者の移動支援

①福祉車両貸出事業

市内在住の高齢者や障がい者に、通院や買い物、レジャー等の外出を援助することを目的として、無料で福祉車両の貸し出しを行いました。さわやか号の貸し出しについては、新型コロナウイルスの影響も緩和され、前年度より利用数は増えました。

・福祉車両貸出状況

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	増 減
さわやか号〈件〉	２９	９	２０
わかくさ号（久米福祉Ｃ）〈件〉	３	２１	△１８
合 計	３２	３０	２

②運転ボランティアの会等との移送支援の検討会の実施

支部単位の地域福祉活動団体やボランティア・ＮＰＯ、移送サービス事業者への聞き取りなどにより、移動状況や移送サービス等のニーズについて情報収集・情報共有を行いました。

③巡回バス運行事業（加茂地域での巡回バスの運行）

加茂地域の住民の方々の移動手段として旧加茂地域の４地区において、周辺部と中心地を結ぶ路線を順次運行しました。（加茂地区内を週６日運行）

尚、本事業は、令和６年度３月よりＡＩデマンド交通「のるイコつやま」の実証運行開始のため、令和６年２月２９日をもって運行休止となりました。

・路線バス運行状況

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	増 減
上加茂地区〈名〉	０	６	△６
新加茂地区〈名〉	３７	８２	△４５
西加茂地区〈名〉	９	２９	△２０
東加茂地区〈名〉	０	２	△２

合 計 (名)	4 6	1 1 9	△ 7 3
---------	-----	-------	-------

(5) 地域包括支援センター事業の受託（市受託事業）

①地域支援事業

1) 一般介護予防事業

- ・「めざせ元気！！こけないからだ講座」「ふらっとカフェ」 活動回数 104回

2) 包括的支援事業

- ・総合相談支援業務

支援を必要とする高齢者に対して、介護保険サービスにとどまらず、適切なサービス、機関または制度の利用につなげました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
来所 (件)	7 1 9	8 2 2	△ 1 0 3
電話 (件)	4, 1 3 1	4, 2 7 5	△ 1 4 4
訪問 (件)	2, 7 1 8	2, 4 3 4	2 8 4
その他 (件)	2 9 8	2 9 3	5
合 計 (件)	7, 8 6 6	7, 8 2 4	4 2

※その他で実態調査としては、1, 381件と前年よりも409件増でした。

3) 権利擁護業務

- ・成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止等
介護保険事業者対象の高齢者虐待防止研修会を開催しました。

開催日：令和5年11月30日（木）

参加者：145名

《講 演》

テーマ：「笑う門にはいい介護～専門職の、みなさん！家族を守れ～」

講 師：笑う門にはいい介護会 代表 中村 学 氏

《報 告》

テーマ：「津山市における高齢者虐待の現状」

報告者：津山市高齢介護課

また、高齢者虐待防止啓発として、津山市役所市民ホール、津山市立図書館にてパネル展示を行いました。

消費者被害防止研修会を一般市民、介護保険サービス事業者、津山見守り協定締結事業者を対象に開催しました。

開催日：令和5年11月15日（水）

参加者：54名

《講 演》

講 師：岡山県消費生活センター 所長 芦田 英厚 氏

《寸 劇》

演 者：被害防止応援団吉備団、チーム清心

4) 高齢者虐待対応

- ・新規相談対応数 実91件 （内虐待判断数 56件）
- ・継続対応件数 延1781件 （新規対応含む）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
身体的〈件〉	580	498	82
経済的〈件〉	269	151	118
心理的〈件〉	610	582	28
介護放棄・放任〈件〉	178	130	48
性的〈件〉	0	0	0
要介護施設従事者等〈件〉	9	18	△9
成年後見制度〈件〉	21	23	△2
日常生活自立支援事業〈件〉	4	0	4
老人福祉施設等措置〈件〉	9	9	△8
消費者被害〈件〉	5	5	0
その他〈件〉	11	33	△22

5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

・介護支援専門員のネットワーク構築支援

介護支援専門員同士のネットワークづくりと包括支援センターとの効果的な協働体制づくりのため情報交換会を開催しました。

a)開催日：5月22日、場所：津山市総合福祉会館、参加者：66名

講義：「津山市で目指すこれからの自立支援をみんなで考える」

講師：津山市健康増進課 参事 安本 勝博 氏

b)開催日：10月20日、場所：津山市総合福祉会館、参加者：67名

講義：「民生委員から見た地域の状況～今後の課題について」

講師：津山市民生児童委員連合協議会会長 高山 科子 氏

c)開催日：2月1日、場所：津山市総合福祉会館、参加者：53名

講義：「AIを活用した予約型乗り合い交通の運行について」

講師：津山市交通・政策課 主事 野條 泰嗣 氏

・ケアマネジャーに対する個別相談 延 1,815件

6) 地域包括ケア会議の運営

・地域包括ケア会議（本会議）の開催は4回となっています。

・地域包括ケアシステム検討部会では、地域包括ケアシステムについて意見交換をしました。

・事業評価部会では、テーマを「サブセンターにおける実態把握の充実」に決めてPDCAに取り組みました。

・地域包括ケア会議の運営については、津山市役所高齢介護課と地域包括支援センター職員によるワーキングチームを設置し、企画・開催しました。

・地域包括ケア会議の活性化を図る目的で、地域共生社会の実現に向けた「重層的支援体制整備事業」に関する学びや意見交換を実施しました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
本会議の運営〈回〉	4	2	2
システム検討部会運営〈回〉	2	2	0

事業評価部会の運営〈回〉	3	3	0
合 計〈回〉	9	7	2

7) 認知症事業

- ・認知症地域支援推進員の配置 3名

- ・認知症初期集中支援推進事業「認知症初期集中支援チーム」

- ・認知症ケアパスの周知

- ・認知症サポーター養成講座の開催

実施回数 43回

参加者 841名

- ・認知症あったか声かけ模擬訓練の実施（2回）

認知症あったか声かけ模擬訓練について企画、検討会議を実施し、認知症を正しく理解でき、道に迷う方の気持ちに配慮して見守りや優しい声かけをすることができるところを目標に2か所の地域で取り組みました。

令和5年6月4日 13:30～ 上加茂支部（物見） 43名参加

令和6年3月7日 13:00～ 津山市全域（市役所周辺） 29名参加

また、認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修と同時に開催し、認知症あったか声かけ模擬訓練の認知症役も、より認知症の方の気持ちを理解できて受け答えができるように、認知症役研修を初めて開催しました。研修受講者には可能な限り認知症役への登録を勧奨し、18名が登録をされ、実際に模擬訓練で認知症役として参加して活躍してもらいました。

- ・「認知症の日」理解・普及啓発

オレンジコグニウォーク、

パネル展示：津山駅、津山市立図書館、津山市役所市民ホール、めぐみ荘、勝北支所、久米支所

津山をオレンジ色に染めよう：オレンジTシャツ着用、ガーランド

街頭啓発：津山市役所東側入り口

- ・認知症の人の活動の場づくり（本人ミーティング）

令和5年度は2回開催。

第1回目：令和5年10月10日（火）「喫茶いとう」にて開催。

※認知症の方8名、家族4名参加。

第2回目：令和6年2月9日（金）「t.café」にて開催。

※認知症の方5名、家族3名参加。

- ・注文をまちがえるかもしれないレストラン

新型コロナウイルスの影響で開催ができていなかったが、4年ぶりに2回開催することができました。

第1回目：令和5年7月26日（水）「あっちゃんの大きな木」にて開催。

※5名の認知症の方が、スタッフとして活躍しました。

第2回目：令和5年9月8日（金）「リトファンイタリアーノ」にて開催。

※9名の認知症の方、がスタッフとして活躍しました。

- ・認知症フォーラム in 津山

認知症、若年性認知症についての正しい理解を啓発するため、また、認知症、若年認知症の人の思いや活動等について伝えるためにフォーラムを開催しました。

開催日：令和6年3月21日（木）

《第1部》講演

テーマ：「共生社会の実現を推進するための認知症基本法とは」

講師：美作大学 生活科学部 社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏

《第2部》報告

テーマ：「津山市の認知症事業について」

報告者：地域包括支援センター

《第3部》シンポジウム（初めての取り組みとして実施）

テーマ：「心の声を届けたい」

登壇者：認知症当事者とご家族

・介護保険事業所研修会

介護保険事業所を対象に認知症、若年性認知症への正しい理解、啓発を行う為に研修会を開催しました。

開催日：令和6年2月15日（木）

《講演》

テーマ：「認知症の人の意思決定支援ガイドラインについて」

講師：岡山パブリック法律事務所津山支所 弁護士 高木 成和 氏

・認知症予防講座

津山市立図書館で認知症予防講座を開催しました。

開催日：令和5年12月5日（火）

テーマ：3つのテーマで「認知症について学ぼう！」「認知症って予防できるの？」
「回想法キットを体験してみよう！」

開催日：令和5年11月29日（水）

テーマ：「あなたの脳体力（認知機能）はどのくらい？～自分らしくやりたいことをいつまでも～」

※令和5年11月29日（水）開催の講座では、初めての取り組みとして、脳体力トレーナーCogEvo（IC 機器）を使用し、自身の認知機能を知ること、自分らしい生活が継続できるように、また早期発見・支援に結びつけていくことができるように開催しました。

8）小地域ケア会議の実施

連合町内会支部単位を基本として、地域住民と専門職が地域課題の解決を目指し活動しています。

・小地域ケア会議設置：35支部

《実施状況》

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減
東 部	大 崎 支 部 〈回〉	12	9	3
	高 野 支 部 〈回〉	2	2	0
	広 野 支 部 〈回〉	3	3	0
	成 名 支 部 〈回〉	5	5	0
	福 南 支 部 〈回〉	2	1	1
西 部	城 西 支 部 〈回〉	11	11	0
	二 宮 支 部 〈回〉	3	2	1
	院 庄 支 部 〈回〉	8	7	1

	田 邑 支 部 〈回〉	1 0	1 0	0
南 部	鶴 城 支 部 〈回〉	0	1	△ 1
	佐良山支部 〈回〉	2	2	0
	城 南 支 部 〈回〉	4	0	4
	中 央 支 部 〈回〉	4	5	△ 1
	福 岡 支 部 〈回〉	4	1	3
北 部	東 苫 田 支 部 〈回〉	4	6	△ 2
	高 倉 支 部 〈回〉	9	1 1	△ 2
中 央 部	東 津 山 支 部 〈回〉	2	2	0
	城 東 支 部 〈回〉	1 2	1 2	0
	林 田 支 部 〈回〉	2	2	0
	城 北 支 部 〈回〉	5	3	2
加 茂 ・ 阿 波	新加茂支部 〈回〉	5	5	0
	西加茂支部 〈回〉	2	2	0
	上加茂支部 〈回〉	1 2	1 2	0
	東加茂支部 〈回〉	2	2	0
	阿 波 支 部 〈回〉	3	1	2
勝 北	広戸西支部 〈回〉	1	1	0
	新野東支部 〈回〉	2	0	2
	広戸東支部 〈回〉	0	0	0
	日本原支部 〈回〉	1	1	0
	勝加茂西支部 〈回〉	1	0	1
	新野中央山形支部 〈回〉	0	0	0
久 米	大井東支部 〈回〉	4	4	0
	倭文東支部 〈回〉	3	1	2
	久 米 支 部 〈回〉	3	4	△ 1
	大 倭 支 部 〈回〉	4	4	0
合 計 〈回〉		1 4 7	1 3 2	1 5

9) 在宅医療・介護連携の推進

10) 生活支援サービスの体制整備

- ・生活支援コーディネーターとの連携
- ・インフォーマル資源の発掘
- ・つやま見守ろうねット（見守り協定）の推進

11) 任意事業

- ・家族介護支援事業（介護おたすけ講座）

a)開催日：10月13日 場所：勝北文化センター

内容：「目からウロコのおむつ講座」 参加者：34名

講師：リブドゥコーポレーション 清水 美智子 氏

b)開催日：10月19日 場所：加茂町福祉センター

内容：「在宅での介護技術」 参加者：23名

講師：岡山県介護福祉士会 山本まき恵 氏、山西 辰子 氏

c)開催日：11月 2日 場所：津山市総合福祉会館

内容：「知っておこう 腰痛予防」 参加者：29名

講師：寿接骨院 川内 寿人 氏

d)開催日：11月16日 場所：津山市久米支所

内容：「高齢者の薬について」 参加者：14名

講師：そよかぜ薬局 富永 真志 氏

②指定介護予防支援事業（介護予防等ケアプラン作成）

1) 予防給付対象者（要支援1、2）の介護予防ケアプランの作成

2) 介護予防・生活支援サービス事業対象者（要支援1、2、事業対象者）に対して、
介護予防ケアマネジメントを実施

《実施状況》

区分	直 営				委 託	プラン 合 計
	訪問・面接	電話・その他	サービス担当者会議	プラン実績	プラン実績	
件数	5, 198	9, 601	1, 331	8, 309	1, 551	9, 860

地域ケア個別会議を年24回開催し、51名の新規利用者の自立支援に向けて検討しました。

3) 福祉用具の購入、住宅改修支援事業

- ・福祉用具、住宅改修支援として、理由書作成、手続きを援助 延 233件
- ・食の自立支援として、配食サービスのプラン、手続きを援助 延 7件

（6）日常生活自立支援事業の推進（県社協受託事業）

①日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等、判断能力不十分な方への福祉サービス利用支援、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを実施しました。

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
認知症高齢者〈名〉	27	24	3
（新規契約）〈件〉	（8）	（8）	（0）
（解約終了）〈件〉	（3）	（1）	（2）
知的障害者〈名〉	22	21	1
（新規契約）〈件〉	（1）	（3）	（△2）
（解約終了）〈件〉	（1）	（0）	（1）
精神障害者〈名〉	19	18	1
（新規契約）〈件〉	（2）	（6）	（△4）
（解約終了）〈件〉	（1）	（4）	（△3）
その他	0	0	0
（新規契約）〈件〉	（0）	（0）	（0）
（解約終了）〈件〉	（0）	（1）	（1）
合 計〈名〉〈件〉	68	63	5
（新規契約）〈件〉	（11）	（17）	（△6）

(解約終了) (件)	(5)	(12)	(△7)
------------	-----	------	------

※ 契約件数：63件（内相談件数1952件） 活動回数：919件、（認知症高齢者27件、知的障害者22件、精神障害者19件、その他0件）

②成年後見制度との連携づくり

日常生活自立支援事業利用者で判断能力の低下がみられる方については成年後見制度への移行を進め、法律職や福祉職との連携を図った。

- 1) 日常生活自立支援事業・成年後見制度情報交換会 年12回
- 2) 生活支援員情報交換会 年4回
- 3) ふくしの相談会

内容：福祉・法律職等による無料の相談会を、鏡野町、美咲町、久米南町社会福祉協議会との共催で実施。

《実施状況》

区 分	月 日	場 所	相 談 者 (件)
美 咲 町	6月21日	美咲町中央保健センター	10
鏡 野 町	10月19日	鏡野町中央公民館	3
津 山 市	1月17日	津山市総合福祉会館	15

(7) 赤い羽根共同募金運動の推進

①地域に分りやすい啓発活動

共同募金の配分金は、ふれあいサロンの運営や点訳ボランティアなど地域の福祉活動やボランティア活動の費用、学校での福祉教育の推進助成金、障がい者就労支援事業所や児童福祉施設、保育園等の車輛整備・社会福祉施設の修繕等、さまざまな民間社会福祉活動に活かされていることが、分かりやすく伝わるように啓発活動に取り組みました。

②赤い羽根共同募金プロジェクトチームの設置

より一層の募金推進を図るため、今年度も課・係にとらわれず横断的なチーム編成により、プロジェクトチームを設置し、新たな啓発活動の検討・実施や、多くの方が募金を行い易いようにグッズ募金をはじめとした、募金運動について検討・実施しました。また、グッズ募金のグッズは、障害者優先調達推進法に基づき、障がい者就労支援事業所への支援と市民と障がい者就労支援事業所とのつながりづくりにも配慮しながら、今年度のグッズ内容の検討・変更を行いコラボグッズとして作成しました。

③津山市の共同募金のイメージキャラクターの活用

市民への公募によって生まれた津山市共同募金委員会のオリジナルキャラクターである「たすくちゃん」と「ゆうちゃん」を活かし、赤い羽根共同募金運動や社会福祉協議会事業等の実施に併せて啓発活動を行いました。

④共同募金の使途周知の徹底

今年度も共同募金の実績報告チラシを作成し、併せて市内の活用先について写真を掲載するなどして、周知を行いました。

また、今年度は、赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業の案内にチラシを同封し、町内会長にも協力のお礼と使途について周知しました。

⑤共同募金受配団体への周知徹底

- ・受配の明示（ステッカー利用・広報掲載等）
- ・街頭啓発の実施

⑥被災地の義援金募集

令和6年1月集計	451,324	円
2月集計	663,229	円
3月集計	43,048	円
合計	1,157,601	円

⑦高校生との共同募金運動

若い世代への共同募金理解啓発や、より一層の募金推進のため、岡山県立津山工業高等学校とともに市内スーパーマーケットで街頭募金活動を実施しました。また、岡山県立津山商業高等学校より、販売実習「津商モール」の売り上げの一部を共同募金に寄付してもらいました。さらに、岡山県美作高等学校は、赤い羽根プロジェクトチームのメンバーに加入してもらい、募金グッズのコラボ企画、製作、街頭募金計画に積極的にアイデアを出してもらいました。9月に開催された「学校祭」でも来場者に赤い羽根共同募金の呼びかけをしてくれました。

（８）歳末たすけあい事業

①歳末たすけあい事業

- ・低所得世帯の家屋補修事業
- ・安全・安心なまちづくり支援事業
- ・紙おむつの安価配布事業
- ・障がい者等・ボランティアふれあいクリスマス事業への助成
- ・友愛訪問活動
- ・ボランティアによる配食事業
- ・福祉団体への助成
- ・生活困窮者への支援等検討
- ・災害ボランティアセンター備蓄品購入

《実施状況》

（単価：円）

No.	在宅福祉活動	金額	説明
1	生活困難世帯家屋の補修材料費	458,180	材料費（8世帯）
2	在宅介護者への紙おむつの支給	2,422,400	在宅介護者への紙おむつ安価配布（554世帯）
3	障害者・高齢者ふれあい事業	235,885	市内5ボランティアグループ 一人暮らし高齢者交流会 バリアフリーコンサート
4	安全・安心なまちづくり支援事業	1,796,032	自主防災防犯組織への助成金（62件）
5	ふれあい配食事業	169,885	孫心弁当 阿波・勝北ふれあい配食事業
6	防災備品購入費	54,120	ゼンリン地図
7	事務経費	103,997	
8	県共同募金会へ送金	603,350	次年度歳末へ繰越

合 計	5, 8 4 3, 8 4 9
-----	-----------------

1) 家屋補修協力業者

建設労組津山支部、カワイハウスカワイ会、㈱妹尾建設、建設労働組合苫田支部、
㈱ニーズホーム、津山トンカチボランティアの会、㈱ユーホーム

(9) 介護保険法・障害者総合支援法による指定事業への取り組み

①居宅介護支援事業

在宅で生活している高齢者が介護保険で在宅サービス等を適切に利用できるように、介護方法や困っていること・心配や不安等の相談を受ける、要介護認定の申請代行、ケアプラン（介護サービス計画）の作成等を行いました。

1) 津山介護プラン作成センター

・職員体制

管理者：1名

介護支援専門員：3名（常勤3内1兼務）

・居宅サービス計画延作成件数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要介護1〈件〉	5 4 9	5 5 8	△ 9
要介護2〈件〉	2 7 0	2 7 3	△ 3
要介護3〈件〉	2 0 5	1 4 3	6 2
要介護4〈件〉	1 8 6	1 2 7	5 9
要介護5〈件〉	4 4	8 1	△ 3 7
合 計〈件〉	1, 2 5 4	1, 1 8 2	7 2

・介護予防プラン受託延件数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要支援1〈件〉	1 2	4	8
要支援2〈件〉	0	6	△ 6
合 計	1 2	1 0	2

・介護保険要介護認定訪問調査受託件数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
受託件数〈件〉	0	0	0

・福祉用具購入と住宅改修手続（理由書作成）件数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要支援1〈件〉	2	0	2
要支援2〈件〉	0	1	△ 1
要介護1〈件〉	1 6	6	1 0
要介護2〈件〉	8	0	8
要介護3〈件〉	1	6	△ 5

要介護4〈件〉	4	1	3
要介護5〈件〉	0	1	△1
合 計〈件〉	31	15	16

②介護予防訪問介護・訪問介護支援事業

高齢者や身体の不自由な方々、また知的障がい又は精神障がいにより行動上著しい困難を有する障がい者等の方々に対して、住みなれた地域で安心して心豊かに暮らしていくことができるように、ヘルパーの派遣により、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行いました。

1) 津山介護サービスセンター

・職員体制

管理者：1名

サービス提供責任者：3名

サービス提供者：20（常勤3・非常勤17）

・要介護度別延利用者数（訪問介護）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要介護1〈名〉	295	284	11
要介護2〈名〉	151	126	25
要介護3〈名〉	80	72	8
要介護4〈名〉	42	15	27
要介護5〈名〉	0	14	△14
合 計〈名〉	568	511	57

・介護予防要支援別延利用者数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要支援1〈名〉	178	265	△87
要支援2〈名〉	303	272	31
事業対象者〈名〉	26	13	13
合 計〈名〉	507	550	△43

・ホームヘルパー利用延時間及び内訳

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
生活援助「時間」	3152.4	2379.0	773.4
身体介護〈時間〉	2780.9	2573.1	207.8
予防訪問介護〈時間〉	2907.0	3319.0	△412.0
合 計〈時間〉	8840.3	8271.1	569.2

・居宅介護事業延利用者数及び延時間数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用			

利用者数〈名〉	7 3	8 6	△ 1 3
利用日数〈時間〉	4 1 9 . 2 5	4 9 2 . 0	△ 7 2 . 7 5

2) 阿波介護サービスセンター

・職員体制

管理者（1名）、サービス提供責任者（管理者兼務）

サービス提供者（4〈常勤2・非常勤2〉）

・要介護度別延利用者数（訪問介護）

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要介護1〈名〉	9 3	1 0 9	△ 1 6
要介護2〈名〉	2 3	1 5	8
要介護3〈名〉	1 1	9	2
要介護4〈名〉	1	0	1
要介護5〈名〉	0	2	△ 2
合 計〈名〉	1 2 8	1 3 5	△ 7

・介護予防要支援別延利用者数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
要支援1〈名〉	3 6	3 8	△ 2
要支援2〈名〉	4 5	3 0	1 5
合 計〈名〉	8 1	6 8	1 3

・ホームヘルパー利用延時間及び内訳

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
生活援助〈時間〉	6 3 9 . 0 1	7 3 9 . 1 3	△ 1 0 0 . 1 2
身体介護〈時間〉	5 7 9 . 3 3	7 1 9 . 5 6	△ 1 4 0 . 2 3
予防訪問介護〈時間〉	7 0 5 . 3 9	4 0 4 . 0 9	3 0 1 . 3
合 計〈時間〉	1 9 2 3 . 7 3	1 8 6 2 . 7 8	6 0 . 9 5

・居宅介護事業延利用者数及び延時間数

《実施状況》

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
利用			
利用者数〈名〉	1 2	1 2	0
利用日数〈時間〉	1 0 4 . 0 0	7 6 . 0 0	2 8 . 0 0

③訪問入浴事業

ご家庭で、浴室が使えない寝たきりの高齢者や身体の不自由な方に、持ち運び式の浴槽をお部屋に運び込み訪問入浴を行いました。

1) 津山訪問入浴サービスセンター

・職員体制

管理者（1名）、看護師（6名〈常勤1・非常勤5〉）、

介護員（1名）、運転手（1名）

- ・入浴車（２台）
- ・利用者人数及び利用延日数

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	増 減
利用			
利用者数（名）	１８７	２０５	△１８
利用回数（回）	６７７	７７９	△１０２

④通所介護事業

少人数で家庭的な雰囲気の中で、地域で暮らしていけることを目的に取り組んでいます。

１）阿波デイサービスセンター

・職員体制

管理者（１名〈常勤〉）、看護師（１名〈常勤〉）、生活相談員（１名〈常勤〉）、介護員（４名〈非常勤〉）

・利用実人員及び利用延人数

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	増 額
要支援１・２			
利用実人員（名）	６	１２	△６
利用延人数（名）	３７８	５５２	△１７４
利用延日数（日）	２４１	２３８	３
要介護１～４			
利用実人員（名）	２４	２１	３
利用延人数（名）	１，６２８	１，４９６	１３２
利用延日数（日）	２４１	２３８	３
合 計			
利用実人員（名）	３０	３３	△３
利用延人数（名）	２，００６	２，０４８	△４２
利用延日数（日）	４８２	４７６	６

⑤「苦情解決」相談窓口の設置

福祉サービスについて利用者等からの苦情の適切な解決にあたり、福祉サービスの質の向上を図ることを目的に設置しました。

■ 社協の組織体制の充実・強化 （基本目標 ５）

１５ 組織体制の充実・強化

法人のガバナンスを確保するために、内部管理体制の基本方針を策定し、本会の基盤整備と組織体制強化のための取組みを推進しました。また、市民の期待に応え、信頼される組織として地域の福祉活動をより一層推進することを目的として、コンプライアンス

ス推進に向けた取り組みを進めました。

(1) 津山市社会福祉協議会の計画的な発展強化への取り組み

《実施状況》

No.	区 分	開 催 日 時
1	理事会	6月7日、6月22日、9月14日、12月11日、2月29日 5回開催
2	評議員会	6月22日、9月27日、12月25日、3月13日 4回開催
3	正副会長会	5月29日、9月7日、12月4日、2月20日 4回開催
4	監査会	5月25日、11月10日 2回開催
5	総務委員会	8月23日 1回開催
6	地域福祉推進委員会	11月21日 1回開催

①その他

- 1) 自主財源の確保
- 2) 香典返し等寄付金の確保
- 3) 交通遺児激励基金寄付金の確保
- 4) 福祉基金寄付金の確保
- 5) 鶴山福祉ビルの経営
- 6) 祭壇貸出事業の経営（加茂福祉センターのみで実施）
- 7) 実習生受入
 - ・社会福祉士実習生受入
 - 本 実 習 4名受入（美作大学25日）
 - 短期実習 1名受入（美作大学 7日）
 - ・介護福祉士・ヘルパー実習生受入
 - 介護福祉士 7名受入（美作短大5名3日、岡山ビジネスカレッジ2名2日）

(2) 発展強化計画の実施

社会福祉法改正や社会福祉法人制度改革、さらに補助金等の減少など、本会をとりまく環境は大きく変化し、厳しくなっております。こうした中で、地域福祉を推進する中核的な団体として、第6次地域福祉活動計画の中間年として着実に実行し、地域住民に必要とされる組織であるため、理念や目指すべき方向性を明確にし、この活動を支える「財政基盤」、「人材育成」、「環境整備」など、組織の基盤を強化が必要です。こうした認識の下、第6次地域福祉活動計画の着実な実行を目的として、本会の基盤整備と組織体制強化のため「発展強化計画」を実施しました。

① 組織体制の充実強化

- ・人材育成・職員の資質の向上、職場面談の実施、職員のプレゼンテーション力強化、および計画的な育成・資質向上のため、職員研修計画に基づき研修しました。

②財源の確保・充実

- ・総合的な財源確保、財源に関する役職員の意識改革、事業活動の広報、民間資金（助成金）の活用・事業スポンサーの発掘等検討、補助金受託金の確保、補助金受託金の使途を明確化（見える化）、補助金受託金の適正判断（金額や主旨）を行いました。

③福祉拠点の管理・運営体制の効率化

- ・各事業での福祉拠点としての活用および周知・啓発、事業効果のアピール（事業の見える化）を行いました。

(3) 津山市社会福祉協議会会員の加入促進

①地域福祉関係団体との連携による周知・啓発

各種団体との連携により、活動内容の周知・理解・啓発の機会を活かした加入促進を進めました。

②会員制度の周知

1) 会員会費

- ・住民会員の周知・啓発

市民に本会の活動を理解してもらい、本会の会員として継続的に地域福祉に参加してもらえるよう、町内会を通じて会員の拡大に努めました

- ・特別会員・普通会员の周知・啓発

エリア内の社会福祉施設・企業等への入会案内により、継続的に地域福祉に参加してもらえるよう、特別会員・普通会员の周知・啓発に努めました。

- ・会員制度の周知・啓発方法の見直し

会員制度について、本会会員制度の仕組みや意義を理解してもらうため、本会の会員制度の周知・啓発の方法について検討しました。また、地域住民や町内自治会等に対し会員のチラシの配布や会員制度の仕組みや意義の理解促進に努めました。

《実施状況》

(単価：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額
普通会費[町内会費] (1口 300円)	4,865,700	5,025,700	△160,000
特別会費[町内会費] (1口 1,000円)	958,300	976,500	△18,200
[施設・団体]	513,500	528,500	△15,000
合 計	6,337,500	6,530,700	△193,200

2) 寄付金

《実施状況》

(単価：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額
福祉事業寄付金 (当該年度地域福祉の振興に 使用)	5,870,298	6,180,808	△310,510
指定寄付金 (交通遺児激励基金積立基金 利息は、交通遺児激励金とし て支給)	86,100	443,108	△357,008
指定寄付金 (老人福祉センター事業へ)	254,750	243,050	11,700
合 計	6,211,148	6,866,966	△655,818

(4) 組織内各種会議の充実

①会議体系に基づく会議の充実

既存の会議を課題ごとに見直しながら、会議体系に基づき、会議目的役割、位置づけを明確にし、効率のよい会議を目指しました。

②各課・係を越えた横断的会議

一部の会議は横断的に担当者が集まり会議をしているが、地域課題や福祉課題等に即した会議の開催を目指しました。

(5) 法人の使命と社会的責任の強化

①法令の遵守

②リスク管理

③規則・規範を遵守

④地域公益事業の取組

・社会福祉法人等との連携

⑤津山市社会福祉協議会災害対応マニュアルの見直し

⑥感染症予防対策の周知・徹底

(6) 施設の管理経営

①津山老人福祉センター「さら楽」

1) 入浴施設の運用

2) 高齢者の教養の向上、保健、レクリエーション等の講演・研修会の開催

3) 各種講座の開催並びに各種講座の作品展や発表会を開催

将棋、陶芸、木彫、御殿まり、書道、華道、歴史見学、療法ヨーガ、パソコン、ソーイング、演歌教室、小物づくり、旬の料理、スケッチ等実施

4) ミニデイサービス事業として月2回、3金サロン事業として月1回、レクリエーションや余暇活動として、楽しく集まれる場所を提供し、高齢者の健康維持、生きがいづくりの推進

5) 地域活動の拠点づくり（つどいの場の設置）

6) 利用者送迎バス等の運行

7) 各種会議・研修会の貸室管理

・津山老人福祉センターの経営（人員一覧）

開館日数 246日

《実施状況》

No.	内 容		利用者（名）	小 計（名）
1	市内	団体人員	347	5,975
2		一般人員	1,926	
3		講座	3,052	
4		ミニデイ・3金サロン	650	
5	市外	一般人員	0	0
合 計			5,975（1日平均24名）	

8) バスの運行（バス利用人員・バスの運行回数）

団体バスの運行は、申込人員が概ね10名以上の場合運行しました。

・運行回数：122回 利用人数：836名（1回平均7名）

9) 主な行事及び事業

・生きがいと創造の事業 定例講座

《実施状況》

講座名	開催日	会員数（名）	開催回数（回）	参加人員（名）
		令和5年度 令和4年度 (増 減)	令和5年度 令和4年度 (増 減)	令和5年度 令和4年度 (増 減)
陶 芸	毎週木曜日	10 12 (△2)	47 45 (2)	322 339 (△17)
木 彫	毎週土曜日	9 8 (1)	51 49 (2)	413 381 (32)
華 道	第1・3火曜日	5 10 (△5)	23 24 (△1)	113 130 (△17)
演 歌	第2・4火曜日	22 20 (2)	24 25 (△1)	330 298 (32)
将 棋	毎週木曜日	15 13 (2)	53 28 (25)	432 111 (321)
書 道	第1・3土曜日	11 11 (0)	24 24 (0)	213 238 (△25)
御殿まり	第2・4金曜日	5 7 (△2)	25 22 (3)	113 104 (9)
ふるさと歴史1班	第2水曜日	20 17 (3)	11 10 (1)	173 156 (17)
ふるさと歴史2班	隔月第4水曜日	20 18 (2)	6 6 (0)	82 86 (△4)
旬の料理講座	隔月第4木曜日	17 12 (5)	6 4 (2)	86 66 (20)
療法ヨーガ	第1・3土曜日	20 21 (△1)	23 25 (△2)	272 265 (7)
パソコン	第1・3土曜日	14 10 (4)	24 24 (0)	116 116 (0)
小物づくり	第4水曜日	6 6 (0)	14 14 (0)	79 73 (6)
ソーイング	第2・4火曜日	8 8 (0)	26 25 (1)	181 166 (15)
スケッチ	第2・4水曜日	8 3 (5)	24 18 (6)	127 54 (73)
合 計		190	381	3,052

		176 (14)	343 (38)	2,583 (469)
--	--	-------------	-------------	----------------

・ミニデイサービス事業

《実施状況》

事業名	開催日	地域名	会員数(名)	回数・参加人員
ミニデイ サロン	第2・4金曜日	旧津山市・旧久米町	24	回数 21回 参加人員 469名

・3金サロン事業

《実施状況》

事業名	開催日	地域名	会員数(名)	回数・参加人員
3金サロン	第3金曜日	旧津山市・旧久米町	17	回数 11回 参加人員 181名

・敬老週間慰問演芸大会及び作品展示

期 間：9月13日（水）～16日（土）

慰問演芸者 77名 作品展示数 252点

②津山市総合福祉会館の経営

津山市福祉総合相談センター、介護福祉用具展示貸出コーナー、子育て器具貸出コーナー、ボランティア集会室、福祉図書コーナー、おもちゃ図書館の設置運営、各種会議・研修会としての貸室管理を行いました。利用者数については、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったとはいえ、例年68,000人程度あったものが6割強の回復にとどまりました。

1) 貸室使用状況

《実施状況》

区 分	令和5年度 件数（利用者数）	令和4年度 件数（利用者数）	増 減 件数（利用者数）
和室	291（4,309）	193（2,904）	98（1,405）
第1小会議室	513（5,533）	387（3,626）	126（1,907）
第2小会議室	266（2,750）	235（2,395）	31（355）
中会議室	342（10,644）	322（9,589）	20（1,055）
プレイルーム	13（70）	9（31）	4（39）
研修室	328（5,471）	255（4,076）	73（1,395）
大会議室	239（14,352）	176（9,334）	63（5,018）
ボランティア集会室	30（330）	24（223）	6（107）
合 計	2,022 (43,459)	1,601 (32,178)	421 (11,281)

2) 津山市福祉総合相談センター

3) 介護福祉用具展示貸出コーナー

4) 子育て器具貸出コーナー

5) ボランティア集会室

6) 福祉図書コーナー

7) おもちゃ図書館の設置運営

8) 各種会議・研修会の貸室管理

③加茂町福祉センター使用状況

1) 加茂町福祉センターの管理経営（指定管理事業〔市〕）

福祉の増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供し、生きがいと交流、健康相談・指導・訓練等総合的に行う拠点施設として、福祉センターの運営を行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度 件数（利用者数）	令和4年度 件数（利用者数）	増 減 件数（利用者数）
大広間（件〈名〉）	395 (6, 620)	371 (6, 167)	24 (453)
研修室（件〈名〉）	76 (830)	57 (701)	19 (129)
和 室（件〈名〉）	8 (86)	6 (67)	2 (19)
診察室（件〈名〉）	471 (4, 510)	474 (4, 088)	△3 (422)
作業室（件〈名〉）	233 (4, 444)	237 (3, 980)	△4 (464)
調理室（件〈名〉）	25 (263)	13 (225)	12 (38)
2階研修室（件〈名〉）	28 (84)	33 (114)	△5 (△30)
歴史民俗資料館	39 (98)	36 (85)	3 (13)
木工所（件〈名〉）	67 (75)	80 (66)	△13 (9)
事務室（件〈名〉）	505 (3, 434)	542 (3, 481)	△37 (△47)
待合室（件〈名〉）	109 (485)	102 (518)	7 (△33)
合 計	1,956 (20,929)	1,951 (19,492)	5 (1,437)

- ・生活、健康相談、健康診査等の支援
- ・就労継続支援B型事業所「輪輪かけはし」、障害者木工作业所の支援
- ・社会参加促進事業

《実施状況》

区 分	令和5年度 実施回数（参加者数）	令和4年度 実施回数（参加者数）	増 減 実施回数（参加者数）
ふれあい料理倶楽部	11	12	△1

(件〈名〉)	(199)	(209)	(△10)
健やか倶楽部 (件〈名〉)	45 (915)	47 (833)	△2 (82)
カラオケ倶楽部 (件〈名〉)	47 (891)	47 (998)	0 (△107)
トレトレすまいる倶楽部 (件〈名〉)	23 (513)	24 (501)	5 (12)
ビリヤード倶楽部 (件〈名〉)	164 (890)	169 (842)	△5 (60)
ウェーブストレッチ教室 (件〈名〉)	12 (115)	10 (53)	2 (62)
合 計 (件〈名〉)	302 (3,523)	309 (3,436)	△7 (87)

・加茂地域イベント用品の貸出

地域での交流事業の実施や活性化が図られ、地域住民の社会参加・孤立防止・つながりづくり・生きがいづくり（役割）などが進められるように、併せて地域福祉の推進や福祉施設整備等の貴重な財源となる共同募金の啓発へもつながるように各イベント用品の貸し出しを行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度 貸出件数（保有数）	令和4年度 貸出件数（保有数）	増 減 額
綿菓子機（件〈個〉）	6（2）	8（2）	△2（0）
紅白幕（件〈個〉）	1（25）	2（25）	△1（0）
移動用放送設備（件〈個〉）	0（2）	1（2）	△1（0）
スポットライト（件〈個〉）	0（1）	0（1）	0（0）
アイスクラッシャー（件〈個〉）	2（1）	0（1）	2（0）
テント（件〈個〉）	1（7）	1（7）	0（0）
合 計（件〈個〉）	10（38）	12（38）	△2（0）

・加茂地域祭壇・祭壇用品の貸出

《実施状況》

区 分	令和5年度 貸出件数（保有数）	令和4年度 貸出件数（保有数）	増 減
祭壇（大）	0（2）	0（2）	△1（0）
祭壇（小）	0（2）	0（2）	0（0）
白黒幕（件〈個〉）	0（9）	0（9）	0（0）
折りたたみ机（件〈個〉）	0（5）	13（5）	△13（0）
移動用放送設備	0（2）	0（2）	0（0）
お参りセット（件〈個〉）	0（2）	0（2）	0（0）
幕付受付机（件〈個〉）	0（2）	0（2）	0（0）
折りたたみ椅子（件〈個〉）	0（45）	48（45）	△48（0）
テント（件〈個〉）	0（7）	2（7）	△2（0）

合 計 (件〈個〉)	0 (74)	63 (74)	△63 (0)
------------	--------	---------	---------

- 2) 生活、健康相談、健康診査等の支援及び市民のあらゆる相談の受入
- 3) 就労継続支援B型事業所「輪輪かけはし」の支援
- 4) 障害者木工作业所の支援
- 5) 加茂町福祉センター生きがいと交流事業
すこやか体操・カラオケ倶楽部・トレトレすまいる倶楽部・料理倶楽部等の実施
- 6) 介護予防閉じこもり防止事業
ウエーブストレッチ体操等の実施。
- 7) 福祉に関する講演会、勉強会の実施
- 8) 手話勉強会への支援 (週1回：めぐみ荘)
- 9) 各種会議、研修会、講習会等の貸室管理
- ④阿波保健福祉センターの管理経営
 - 1) 各種会議、研修会、講習会等の貸室管理
- ⑤勝北高齢者共同作業場の管理
 - 1) 勝北共同作業場の受託管理
・高齢者の趣味、創造活動の一環としての木工教室の運営
 - 2) 会員数：22名 研修会：10月16日 参加者14名
 - 3) 勝北地域イベント用具等の貸出
地域での交流事業の実施や活性化が図られ、地域住民の社会参加・孤立防止・つながりづくり・生きがいづくり（役割）などが進められるように、併せて地域福祉の推進や福祉施設整備等の貴重な財源となる共同募金の啓発へもつながるように各イベント用品等の貸し出しを行いました。

《実施状況》

区 分	令和5年度 貸出件数 (保有数)	令和4年度 貸出件数 (保有数)	増 減
アイスクラッシャー (件〈個〉)	9 (4)	0 (4)	9 (0)
大鍋・ガスバーナ (件〈個〉)	1 (3)	0 (3)	1 (0)
フライヤー (件〈個〉)	1 (1)	0 (1)	1 (0)
焼き芋機 (件〈個〉)	3 (1)	3 (1)	0 (0)
いか焼き機 (件〈個〉)	1 (1)	0 (1)	1 (0)
たこ焼き機 (件〈個〉)	0 (1)	0 (1)	0 (0)
グリドル (件〈個〉)	5 (2)	0 (2)	5 (0)
うす (件〈個〉)	0 (2)	1 (2)	△1 (0)
折りたたみ机 (件〈個〉)	0 (4)	0 (4)	0 (0)
移動放送設備 (件〈個〉)	5 (2)	1 (2)	4 (0)
折りたたみ椅子 (件〈個〉)	0 (39)	0 (39)	0 (0)
合 計 (件〈個〉)	25 (60)	5 (60)	20 (0)

1.6 広報の充実・強化

本会の取組や地域福祉活動、さらに先駆的な取組事例などについて、各種広報媒体を

最大限に活用しながら継続的に情報発信を進めました。また、より多くの市民に地域（福祉）への関心を持っていただき、参加や協力の輪が広がって行くことを目指し取り組みました。

（１）広報活動の充実

①津山市社協だより・パンフレットの内容・配布方法の検討

②津山市社協だより“広報紙”の発行（年４回；６月、９月、１２月、３月）

社会福祉協議会の広報紙として、「つやま社協だより」を年４回、各４２，２００部発行し、各戸に配付すると共に公共施設などに配付し、多くの市民の皆様に提供しました。

《実施状況》

令和５年度			令和４年度
巻 数	発 行 日	発 行 部 数	発行回数・部数
第１４６号	令和５年 ６月 １日	年４回 ４２，２００部	年４回 ４２，２００部
第１４７号	令和５年 ９月 １日		
第１４８号	令和５年１２月 １日		
第１４９号	令和６年 ３月 １日		

③パンフレットの配布

「私のまちの社会福祉協議会ガイド」等の作成と更新を行い、地域住民・関係機関団体等へ向けて事業の周知啓発を行いました。

④懇談会・座談会の開催

地域で支え合う意識の醸成にて報告済み。

⑤ホームページ等による周知

ホームページをより分かりやすく、使いやすいものとするため、リニューアルするとともに、本会や関係団体、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載し、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

《実施状況》

区 分	令和５年度	令和４年度	差 引
アクセス数（件）	５，５７１	１９，１２７	—
ホームページ閲覧数（件）	２０，３４１ （平均３．６５ページ）	４８，１４１ （平均２．５２ページ）	—

※令和５年度のアクセス数、ホームページ閲覧数については、リニューアルへの対応のため令和５年７月から令和６年１月まで集計なし。

⑥津山市社会福祉大会の開催

多年にわたり市の社会福祉の発展に貢献された方々を表彰すると共に、少子高齢化社会を包括的かつ継続的な在宅医療と介護の連携強化により、地域住民の方や様々な関係機関や団体等が一体的に推進していく機会として社会福祉大会を開催しました。

日 時：１０月２４日（火）１２：３０～１４：３０

場 所：津山市総合福祉会館 ４階 大会議室

参加者：３００名

受賞者：８０名

⑦講演会等の開催

日 時：10月24日（火）14：30～16：00

場 所：津山市総合福祉会館 4階 大会議室

参加者：300名

講 演：「やさしさとぬくもりあふれる 支え合いのまちを目指して」
～地域共生社会の実現に向けて～

講師 落語家 桂 福点 氏

1.7 事業評価の実施

実施事業について、PLAN(計画)－DO(実施)－CHECK(評価)－ACTION(調整・改善)という循環サイクルを確立し、その事業や活動の目的・目標を明確にしながら、地域の実情に沿った事業推進が図られるように検討し結果を改善につなげる仕組みを導入しました。

(1) 事業評価制度の実施

①事業評価制度の検討

第6次地域福祉活動計画の指標などにより評価を行い、評価結果に基づいて次年度事業に向けた検討を行うなど、評価結果を活用しました。

1 8 組織構成

(1) 役員名簿

令和6年3月31日現在

任期：令和5年定時評議員会終結から令和7年定時評議員会終結まで

	役職名	氏 名	
1	会 長	坂手 宏次	学識経験者
2	副会長	岸本 常義	津山市連合町内会
3	副会長	高山 科子	津山市民生児童委員連合協議会
4	副会長	松本 静江	津山市愛育委員連合会
5	副会長	小野 恭三	津山市老人クラブ連合会
6	理 事	上高 進	津山市連合町内会
7	理 事	高山 康晴	津山市連合町内会
8	理 事	安藤 嘉啓	津山市民生児童委員連合協議会
9	理 事	井上 郁子	津山市愛育委員連合会
10	理 事	岡本 初子	津山市ボランティア交流会
11	理 事	高橋 寿治	津山市議会
12	理 事	福見 弘	中山間地域懇談会（加茂）
13	理 事	須藤 眞	中山間地域懇談会（勝北）
14	理 事	青山 悦子	中山間地域懇談会（久米）
15	理 事	藤田 勉	津山市身体障害者福祉協会
16	理 事	澤 登志子	津山市母子寡婦福祉会
17	理 事	福原 文徳	老人福祉施設
18	理 事	木梨 良祐	津山市環境福祉部
19	理 事	絹田 真一	津山市社会福祉協議会
20	監 事	日下 英彦	学識経験者
21	監 事	福田 啓吾	学識経験者
22	監 事	岡 完治	学識経験者

(2) 評議員名簿

令和6年3月31日現在

任期：令和3年4月1日～令和3年4月1日から4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで

	役職名	氏 名	所属団体等
1	評議員	青木 幹生	津山児童福祉施設職員研究協議会
2	評議員	秋山 まゆみ	津山市民生児童委員連合協議会
3	評議員	明楽 智雄	津山市地域振興部
4	評議員	池上 憲文	津山市保育協議会
5	評議員	内田 妙子	津山市愛育委員連合会
6	評議員	内野 徹	津山市連合町内会
7	評議員	小笠原 翔太	津山青年会議所
8	評議員	奥田 賢二	津山市こども保健部
9	評議員	小椋 道典	津山市連合町内会
10	評議員	柿内 穂	津山市連合町内会
11	評議員	柿元 洋子	津山市愛育委員連合会
12	評議員	影山 美智子	津山市ボランティア交流会
13	評議員	加田 美恵	中山間地域懇談会（勝北）
14	評議員	國米 裕喜	中山間地域懇談会（久米）
15	評議員	後藤 和哉	津山商工会議所
16	評議員	櫻井 健一	津山市環境衛生推進委員会
17	評議員	清水 厚子	学識経験者
18	評議員	杉山 誠一	学識経験者
19	評議員	杉山 良次	中山間地域懇談会（久米）
20	評議員	高須 昌明	津山市連合町内会
21	評議員	高原 雅子	津山地区保護司会
22	評議員	田島 美智子	津山市民生児童委員連合協議会
23	評議員	津本 琢也	晴れの国岡山農業協同組合
24	評議員	中尾 順一	津山市連合町内会
25	評議員	服部 慎一	中山間地域懇談会（勝北）
26	評議員	林田 民雄	津山市民生児童委員連合協議会
27	評議員	二木 幸子	津山市手をつなぐ育成会
28	評議員	向谷 雅史	津山市医師会
29	評議員	山田 誠	津山市連合町内会
30	評議員	山本 進	津山市民生児童委員連合協議会
31	評議員	山本 直	老人・身体障害者施設
32	評議員	稲田 法子	中山間地域懇談会（阿波）
33	評議員	岡田 進	津山市子供会連合会
34	評議員	寺本 勝	津山市連合町内会
35	評議員	真木 徹	津山歯科医師会
36	評議員	清田 寂源	救護施設等
37	評議員	大塚 人美	中山間地域懇談会（加茂）
38	評議員	都井 啓子	中山間地域懇談会（加茂）
39	評議員	福田 邦夫	学識経験者

(3)機構図

令和6年3月31日現在

